



(題字 時澤 貢 学長)

第436号  
(平成13年4月号)

4月のトピックス

◇ 10日 平成13年度富山大学入学式を盛大に挙



△ 学長告示を代読する能登谷副学長

## 目 次

学 長 告 示 .....	3
関 係 法 令 .....	5
学 内 規 則	
◆ 富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の改正 .....	5
◆ 富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則の制定 .....	6
◆ 富山大学学則の一部改正 .....	9
◆ 富山大学大学院学則の一部改正 .....	12
◆ 富山大学学位規則の一部改正 .....	16
◆ 富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員選考規則の制定 .....	17
◆ 富山大学総務委員会規則の一部改正 .....	18
◆ 富山大学極東地域研究センター規則の制定 .....	18
◆ 富山大学人文学部規則の一部改正 .....	19
◆ 富山大学教育学部附属学校園の学校評議員に関する規則の制定 .....	22
◆ 富山大学理学部規則の一部改正 .....	23
◆ 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正 .....	25
◆ 富山大学教育学部規則の一部改正 .....	30
◆ 富山大学工学部規則の一部改正 .....	39
◆ 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正 .....	43
◆ 富山大学大学院理工学研究科規則の一部改正 .....	51
諸 会 議 .....	58
学 内 諸 報	
◆ 次期学長候補者に小澤 浩人文学部教授を選出 .....	59
◆ 富山大学名誉教授称号記授与式を実施 .....	60
◆ 平成13年度新任教員説明会を実施 .....	60
◆ 表彰 .....	61
◆ 海外渡航 .....	61
主 要 行 事 .....	62

## 学 長 告 辞

## 平成13年度富山大学入学式を盛大に挙行

—学部学生1,614人、大学院生329人、計1,943人の入学を許可—

平成13年度富山大学入学式が、去る4月10日（火）午前10時30分から富山市芸術文化ホールにおいて挙行されました。

式に先立ち、富山大学ギターマンドリンクラブにより、リチャード・ロジャース作曲の「私のお気に入り」と「すべての山に登れ」の演奏があり、式場を厳粛な雰囲気とさせました。

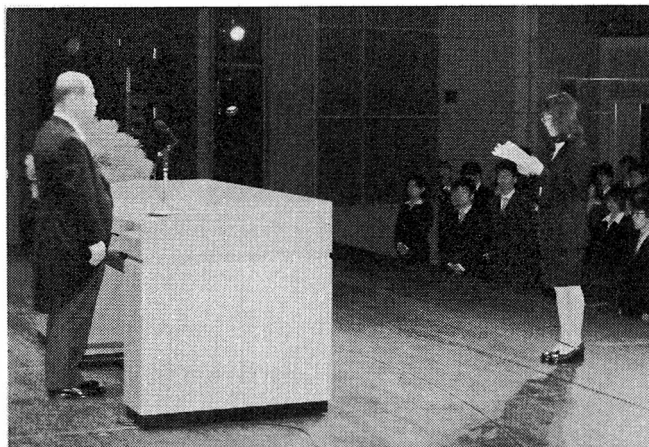
式は、関係部局長が列席する中、最初に能登谷副学長が、学部学生1,537人、3年次編入学生77人、大学院（修士・博士前期課程）生306人、大学院（博士後期課程）生23人、計1,943人（外国人留学生87人を含む。）に入学許可を宣言し、「各自が課題を設定・追求し、能動的に取り組むことで個性に輝く学びの成果が得られる。各自の生き方について思索し、精神の自立を図ってほしい。初心を忘れることなく、勉学に精励し、人生の有意義な時を過ごされたい」との時澤学長の告辞を代読されました。

これに対し、教育学部学校教育教員養成課程大重絵美里さんが新入生を代表して「入学生一同は、在学中、学則を守り、自己の研鑽に努め、さらなる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力します。」と宣誓し、無事に式を終了しました。

また、式終了後、富山大学合唱団が「富山大学歌」（森川勝彦作曲）及び「花」（瀧廉太郎作曲）の2曲を合唱し、続いて富山大学フィルハーモニー管弦楽団が「ラデツキィー行進曲」（ヨハン・シュトラウス作曲）及び「威風堂々」（エルガー作曲）の2曲を演奏し、新入生を和ませました。

その後、学部学生に対しては、教養教育及び学生部・保健管理センターのオリエンテーションが実施されました。

なお、式開始前には、会場周辺にサークルの学生が多く集まり、新入生に加入を勧めていました。



△宣誓する教育学部の大重絵美里さん

## 入学式における学長告辞（全文）

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

富山大学は、本年度、1,943名の入学生を迎えました。この中には、三年次に編入学する77名、大学院修士課程・博士前期課程に入学する306名、大学院博士後期課程に入学する23名、さらに留学生87名が含まれています。

若い活力に満ちた皆さんを、私たちの仲間として迎えたことは、富山大学にとって大きな喜びであり、全教職員を代表して心からお祝いと歓迎を申し上げます。

富山大学で学ぶことを志し、努力を重ね、厳しい受験競争に打ち勝って、晴れてここに富山大学の学生となっ

た皆さんの喜びはもちろんのこと、ご家族の皆様の喜びもひとしお大きいものであったと思います。

富山大学は人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部の五つの学部からなり、人文・社会系と自然科学系を有する総合大学です。

また、人文科学、教育学、経済学の大学院各研究科修士課程、理学と工学を融合した大学院理工学研究科博士課程が設置されています。

富山大学のキャンパスには、学生、教職員合わせて、約一万名が活動しており、大学は大きなコミュニティー

として、その使命を果たすべく日夜努力しているところであります。

大学は、教育・研究と社会貢献の三つを使命として学問をするところであります。学問とは、自ら問いかねぶことにより、絶えず問題意識を持ち、課題を追求し、幅広い知識の知恵化をはかり、自ら身につけることであります。その結果、優れた人格の形成をもたらし、専門能力を具備した豊かな人間性と創造性を培い、これが人生の継続的なエネルギー源となり、自らの表現力、思考力、創造力として社会貢献につながるものと考えます。

そのため、教員は皆さんに対して、絶えず新しい知識を教授し、興味を持たせ、能力を引き出すため、研究と教育を表裏一体として、先端的研究、発展的な教育方法を情熱をもって教授し、有能な人材を社会に搬出すべく努力をしております。

富山大学には、21世紀を担う、地域に根ざした国立大学の道標となる理念、特色、社会的存在意義を明確にするため、五つの柱からなる大学の基本理念があります。それは、

- 一、生命を尊重する共生の精神
- 二、社会と共栄する学術研究の推進
- 三、豊かな人間性と創造性を培う教育
- 四、地域社会や国際社会への貢献
- 五、たゆまざる自己啓発・自己改革

であります。

現在、これらの理念に基づいて、中・長期目標を具体化することにより、教育活動の質的向上と、研究活動の活性化・効率化を図り、地域・国際社会の諸課題に応えられる体制に向けた、大学改革を推進しているところであります。

今、日本の大学には、国際的に競争できる個性的な教育が求められており、大学の現状を分析し、それに対応した改革が進められております。また一方で、国立大学の独立行政法人化の問題も具体的に検討されております。このように、大学を取り巻く環境は厳しく、その存亡をかけて、社会の要請に応じて行かねばなりません。

そのためには、大学の一人一人がこの新たな理念・目標のもとに結集し、その目的達成に向けて日々精進が必要であり、皆さんにも大学を構成する一員として、そのことを理解し、よりよい富山大学作りに協力されるよう期待いたします。

皆さんは、これまでの小学校、中学校、高等学校では、受け身の知識を中心とした勉学をしてきたと思います。大学ではさらに幅広い知識をベースとして、各自が学問の課題を設定・追求して能動的に取り組み、自らの思考によって個性に輝く学びの成果が得られることを望みます。

そこで、課題解決に向けて、様々な情報を積極的に入手すると共に、過去の学習によって構築した自分の知識をベースとして、適切な解決方法を探究します。大切なのは、日頃から色々なことに興味と関心を持ち、課題に対して、ねばり強い追求意欲をもち続けることが必要です。

新入生の皆さん、どうぞ常に知的好奇心を持ち、理性を研ぎ澄まし、美しいもの、優しいものに感動する感性を磨いてほしいと思います。

皆さんにとってかけがえのない青春時代をどのように過ごすか、また、大学で良い友人、教員にめぐり会うことが、皆さんの人生にとって大いに意義あるものと信じます。

本日、皆さんに入学の挨拶ができることも、長い人生の中での一人一人の出会いであります。この出会いを大切にし、初心を忘れることなく、若い力で勉学に精励し、21世紀の担い手として羽ばたく素地を築いてください。

人生の中で、最も自由で実り多い青春を、立山連峰、日本海など山と海に囲まれた美しく豊かな自然環境の下で、快適で健康な学生生活をおくられることを期待して告辞といたします。

平成13年4月10日

富山大学長  
時 澤 貢

## 関 係 法 令

**(省 令)**

- 学校図書館法施行規則を廃止する省令（文部科学67）  
（平成13.4.26 官報第3104号）
- 義務教育費国庫負担法第2条但書の規定に基づき教職員給与費等の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則及び公立養護学校整備特別措置法施行規則の一部を改正する省令（同68）（同上）
- 大学入学資格検定規定の一部を改正する省令（文部科学69）（平成13.4.27 官報号外第86号）

**(告 示)**

- 平成13年度学校図書館司書教諭講習実施要項を定める件（文部科学59）（平成13.4.3 官報号外第68号）
- 科学研究費補助金取扱規定の一部を改正する件（同72）（平成13.4.19 官報第3099号）

## 学 内 規 則

### 富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の改正

富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の改正理由

教育学部附属小学校及び附属中学校の授業時間が変更することに伴い、所要事項を改める。

富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年 4月 1日

富山大学長 時 澤 貢

#### 富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則

富山大学に勤務する職員の勤務時間等に関する規則（平成4年5月1日制定）の一部を次のように改正する。

別表3中

教育学部 附属小学校 の教員	52週間	日曜日並びに毎月の第二土曜日及び第四土曜日並びに夏季・冬季等の休業期間中に学長が指定する7日以上勤務日	月曜日から金曜日まで 午前8時30分 ～午後5時	午後1時 ～午後1時30分	午前10時35分 ～午前10時50分 午後3時50分 ～午後4時5分
			土曜日 午前8時30分 ～午後0時30分		午前10時35分 ～午前10時50分
教育学部 附属中学校 の教員	52週間	日曜日並びに毎月の第二土曜日及び第四土曜日並びに夏季・冬季等の休業期間中に学長が指定する7日以上勤務日	月曜日から金曜日まで 午前8時30分 ～午後5時	午後0時40分 ～午後1時10分	午前9時40分 ～午前9時50分 午前11時40分 ～午前11時45分 午後1時10分 ～午後1時25分
			土曜日 午前8時30分 ～午後0時30分		午前9時55分 ～午前10時 午前11時50分 ～午後0時

を

教育学部 附属小学校 の教員	52週間	日曜日並びに毎月の第二 土曜日及び第四土曜日並 びに夏季・冬季等の休業 期間中に学長が指定する 7日以上勤務日	月曜日から金曜日まで 午前8時30分 ～午後5時	午後1時5分 ～午後1時35分	午前10時20分 ～午前10時35分 午後3時50分 ～午後4時5分
			土曜日 午前8時30分 ～午後0時30分		午前9時25分 ～午前9時30分 午前10時20分 ～午前10時30分
教育学部 附属中学校 の教員	52週間	日曜日並びに毎月の第二 土曜日及び第四土曜日並 びに夏季・冬季等の休業 期間中に学長が指定する 7日以上勤務日	月曜日から金曜日まで 午前8時30分 ～午後5時	午後0時40分 ～午後1時10分	午前9時40分 ～午前9時50分 午前11時40分 ～午前11時45分 午後1時10分 ～午後1時25分
			土曜日 午前8時30分 ～午後0時30分		午前9時40分 ～午前9時50分 午前11時50分 ～午前11時45分

に改める。

附 則

この規則は、平成13年 4 月 1 日から施行する。

## 富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則の制定

### 富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則の制定理由

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成13年 3 月29日 文部科学省，厚生労働省，経済産業省）に  
基づき，所要事項を定める。

富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則を次のとおり制定する。

平成13年 4 月20日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則

（目 的）

第1条 この規則は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成13年 3 月29日）文部科学省，厚生労働省，経済産業省（以下「指針」という。）に基づき，富山大学（以下「本学」という。）におけるヒトゲノム・遺伝子解析研究（以下「研究」という。）を計画し，実施する際に遵守すべき倫理に関する必要な事項を定め，研究のための試料提供者又はその家族（以下「提供者等」という。）の人権の保護及び研究の透明性を確保することを目的とする。

（学長の責務）

第2条 学長は，指針及びこの規則に定めるところに従い，本学において行う研究の実施に関して人権の保護

及び研究の透明性の確保に努めなければならない。

（委員会の設置）

第3条 本学に，富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（委員会の任務）

第4条 委員会は，指針に基づき，研究計画の実施の適否等について，倫理的観点とともに科学的観点も含めて審査し，学長に対して文書により意見を述べなければならない。

2 委員会は，学長に対して，実施中の研究に関し，その研究計画の変更，中止，その他必要と認めるところについて，意見を述べることができる。

（委員会の組織）

第5条 委員会は，次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 研究に関連する分野の教授 1人
- (2) 研究に関連する分野以外の教員 2人
- (3) 本学に所属しない人文科学、社会科学の有識者  
2人
- (4) 本学に所属しない学識経験者 1人
- (5) その他学長が必要と認める者

2 前項1号の委員は、研究に関する科学的事項を総合的に審査するに必要な優れた識見を有する者、第3号の委員は、倫理的事項を総合的に審査するに必要な優れた識見を有する人文科学、社会科学の有識者、第4号の委員は、提供者等の人権について広く一般の人々の意見を反映できると考えられる者とする。

3 第1項第1号の委員がヒトゲノム・遺伝子解析の研究者（以下「研究者」という。）となった場合は、委員を交代する。

4 第1項第1号の委員のうち、少なくとも1人は女性とする。

（委員の任期）

第6条 前条第1項第1号、第2号、第3号及び第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第1項第5号の委員の任期は、その都度定める。

（委員長）

第7条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

（議 事）

第8条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第5条第1項第3号又は第4号の委員が1人以上出席しなければ開会できない。

2 議決は、出席委員全員の合意を原則とする。

3 委員長は、委員会の審議結果を速やかに書面で学長に報告するものとする。

（意見の聴取等）

第9条 委員会が必要と認めたときは、研究者の出席を求めて研究計画の説明等科学的意見を聴くことができる。

（記録の保存及び公開）

第10条 審査に係る記録の保存期間は10年とし、委員会の議事要旨は、個人情報及び知的所有権の保護に反しない範囲で、公開するものとする。

（遵守事項）

第11条 委員会の委員は、審査を行う上で知り得た個人に関する情報等を漏らしてはならない。

（庶 務）

第12条 委員会の庶務は、総務部研究協力課において処理する。

（研究の許可）

第13条 研究者は、研究を開始しようとする年度の前年度に、ヒトゲノム・遺伝子解析研究申請書（別紙様式1）を学長に提出し、その許可を受けなければならない。また、研究計画を変更しようとするときも同様とする。

2 学長は、申請のあった研究について、委員会の議に基づき、許可を与えるか否かの決定を行うものとする。

（許可通知）

第14条 学長は、前条の決定を行ったときは、その結果を速やかに申請者に通知するものとする。

（実施状況報告）

第15条 学長は、研究者に対し、1年に1回以上、研究の実施状況を報告させるものとする。

2 学長は、委員会に研究の実施状況の報告書の写しを送付しなければならない。

（実地調査）

第16条 学長は、学長が指名する外部の有識者に、インフォームド・コンセントの手続きの実施状況及び個人情報保護の状況について、研究計画書に沿って適正に行われているかどうかを1年に1回以上実地調査させなければならない。

2 学長が指名する外部の有識者は、指名前5年間に本学職員であった者を除く。

3 学長は、委員会に外部有識者による実地調査結果の写しを送付しなければならない。

（措 置）

第17条 学長は、報告又は調査の結果、提供者等の人権を守るため必要と認められる場合には、許可した研究の実施方法の改善、中止又は研究計画の変更を命じなければならない。

2 学長は、中止を命じた研究の再開又は変更を命じた研究計画を許可する場合には、あらかじめ委員会の意見を聴かなければならない。

（雑 則）

第18条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、学長が定める。

## 附 則

- 1 この規則は、平成13年4月20日から施行する。
- 2 この規則第5条第1項の委員について、初年の委員

の任期は、第6条の規定にかかわらず、平成15年3月31日までとする。

(別紙様式1)

## ヒトゲノム・遺伝子解析研究申請書

平成 年 月 日

富 山 大 学 長 殿

所属部局・職  
氏 名

下記のヒトゲノム・遺伝子解析研究について、富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則第13条の規定に基づき申請します。

### 記

- 1 ヒトゲノム・遺伝子解析研究の研究題目
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 2 添付書類
  - (1) 研究計画書 (別紙様式2)
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  - (2) その他参考となる事項



(別紙様式2)

## 研 究 計 画 書

1. 提供者を選ぶ方針（合理的に選択していることがわかる具体的な方法、提供者が疾病や薬剤反応性異常を有する場合等にあつては、病名又はそれに相当する状態像の告知方法等。）
2. 研究の意義、目的、方法（対象とする疾患、分析方法等。将来の追加、変更が予想される場合はその旨を記載。単一遺伝子疾患等の場合には研究の必要性、不利益を防止するための措置等の特記事項。）、期間、予想される結果及び危険、個人情報の保護の方法（匿名化しない場合の取扱いを含む。）
3. 試料等の種類、量
4. 共同研究機関の名称
5. 研究責任者等の氏名
6. インフォームド・コンセントのための手続及び方法
7. インフォームド・コンセントを受けるための説明文書及び同意文書
8. 提供者本人からインフォームド・コンセントを受けることが困難な場合、その研究の重要性及び本人から試料等の提供を受けなければ研究が成り立たない理由並びに代諾者等を選定する考え方
9. 遺伝情報の開示に関する考え方
10. 研究実施前提供試料等を使用する場合の同意の有無、内容、提供時期、本指針への適合性
11. 他の機関から試料等又は遺伝情報の提供を受ける場合のインフォームド・コンセントの内容
12. 試料等又は遺伝情報を外部の機関に提供する場合や研究の一部を委託する場合の匿名化の方法等の事項（契約の内容を含む。）
13. 試料等の保存方法及びその必要性（他の研究への利用の可能性と予測される研究内容を含む。）
14. ヒト細胞・遺伝子・組織バンクに試料等を提供する場合には、バンク名、匿名化の方法等
15. 試料等の廃棄方法及びその際の匿名化の方法
16. 遺伝カウンセリングの必要性及びその体制
17. 研究資金の調達方法

## 富山大学学則の一部改正

## 富山大学学則の改正理由

- 1 富山大学に学内共同教育研究施設として、富山大学極東地域研究センターが設置されるため、所要事項を改める。
- 2 平成13年度から、人文学部及び経済学部第3年次編入学定員が新設されることに伴い、所要事項を改める。
- 3 教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令（平成12年6月29日文部省令第47号）に基づき、免許教科新設の教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程として認定されることに伴い、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日全部改正）の一部を次のように改正する。

第9条第1項中「機器分析センター」の下に「極東地域研究センター」を加える。

別表第1を次のように改める。

別表第1

学 部	学 科 等	入 学 定 員	第3年次編入学定員	収 容 定 員
人文学部	人 文 学 科	60 人	人	240 人
	国 際 文 化 学 科	50		200
	言 語 文 化 学 科	75		300
	各 学 科 共 通		10	20
	計	185		760
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	100		400
	生 涯 教 育 課 程	40		160
	情 報 教 育 課 程	30		120
	計	170		680
経済学部	経 済 学 科			
	昼 間 主 コ ー ス	135		540
	夜 間 主 コ ー ス	20		80
	経 営 学 科			
	昼 間 主 コ ー ス	115		460
	夜 間 主 コ ー ス	20		80
	経 営 法 学 科			
昼 間 主 コ ー ス	95		380	
夜 間 主 コ ー ス	20		80	
	各 学 科 共 通		10	20
	計	405	10	1,640
理学部	数 学 学 科	50		200
	物 理 学 学 科	40		160
	化 学 学 科	35		140
	生 物 学 学 科	35		140
	地 球 科 学 学 科	40		160
	生 物 圏 環 境 科 学 学 科	30		120
	各 学 科 共 通		10	20
	計	230	10	940
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 学 科	88		352
	知 能 情 報 工 学 学 科	78		312
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 学 科	88		352
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 学 科	151		604
	各 学 科 共 通		30	60
	計	405	30	1,680
合 計		1,395	60	5,700

備考 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間に授業を行うコースを、「夜間主コース」とは、主として夜間に授業を行うコースをいう。

別表第2教育学部の部に次のように加える。

情報教育課程	高等学校教諭一種免許状	情報
--------	-------------	----

附 則

- この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 別表1に定める収容定員は、平成13年度から平成15年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	平成13年度	平成14年度	平成15年度
人文学部	人 文 学 科	255 人	250 人	245 人
	国 際 文 化 学 科	200	200	200
	言 語 文 化 学 科	315	310	305
	各学科共通(第3年次編入学分)	10	20	20
	計	780	780	770
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	450	400	400
	生 涯 教 育 課 程	120	160	160
	情 報 教 育 課 程	90	120	120
	計	660	680	680
経済学部	経 済 学 科			
	昼 間 主 コ ー ス	600	580	560
	夜 間 主 コ ー ス	80	80	80
	経 営 学 科			
	昼 間 主 コ ー ス	475	470	465
	夜 間 主 コ ー ス	80	80	80
	経 営 法 学 科			
	昼 間 主 コ ー ス	395	390	385
	夜 間 主 コ ー ス	80	80	80
	各学科共通(第3年次編入学分)	10	20	20
計	1,720	1,700	1,670	
理学部	数 学 科	202	200	200
	物 理 学 科	162	160	160
	化 学 科	143	140	140
	生 物 学 科	143	140	140
	地 球 科 学 科	160	160	160
	生 物 圏 環 境 科 学 科	120	120	120
	各学科共通(第3年次編入学分)	20	20	20
	計	950	940	940
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	359	354	352
	知 能 情 報 工 学 科	322	314	312
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	364	354	352
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	612	608	604
	各学科共通(第3年次編入学分)	60	60	60
	計	1,717	1,690	1,680
合 計	5,827	5,790	5,740	

## 富山大学大学院学則の一部改正

## 富山大学大学院学則の改正理由

- 1 大学院教育学研究科（修士課程）教科教育選考の整備（社会科教育専修及び英語教育専修の設置）に伴い、所要事項を改める。
- 2 大学院理工学研究科（博士前期課程）の専攻名の変更及び入学定員の改訂に伴い、所要事項を改める。

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第6条理工学研究科博士前期課程中「，電子情報工学専攻，機械システム工学専攻，物質工学専攻，化学生物工学専攻」を「，電気電子システム工学専攻，知能情報工学専攻，物質生命システム工学専攻」に改める。

別表第1を次のように改める。

別表第1

研究科名	課程名	専攻等名	入学定員	収容定員
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	5人	10人
		地域文化研究専攻	5	10
		計	10	20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6	12
		教科教育専攻	32	64
		計	38	76
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	4	8
		企業経営専攻	4	8
		計	8	16
理工学研究科	博士前期課程	数 学 専 攻	12	24
		物 理 学 専 攻	12	24
		化 学 専 攻	10	20
		生 物 学 専 攻	10	20
		地 球 科 学 専 攻	10	20
		生 物 圏 環 境 科 学 専 攻	10	20
		電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 専 攻	33	66
		知 能 情 報 工 学 専 攻	27	54
		機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	33	66
		物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 専 攻	60	120
		小 計	217	434
	博士後期課程	シ ス テ ム 科 学 専 攻	7	21
		物 質 科 学 専 攻	7	21
		エ ネ ル ギ ー 科 学 専 攻	5	15
生 命 環 境 科 学 専 攻		5	15	

	小 計	24	72
	計	241	506
合	計	297	618

注：教育学研究科の入学定員内には外国人留学生として、学校教育専攻に1人、教科教育専攻に2人を含むものとする。

別表第2を次のように改める。

別表第2

研究科名	専攻等名	免許状の種類	免許教科	
人文科学研究科	文化構造研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会	
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史	
		高等学校教諭専修免許状	公民	
	地域文化研究専攻	社会歴史コース	中学校教諭専修免許状	社会
			高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		国語コース	中学校教諭専修免許状	国語
			高等学校教諭専修免許状	国語
		中国語コース	中学校教諭専修免許状	中国語
			高等学校教諭専修免許状	中国語
	英語コース	中学校教諭専修免許状	英語	
		高等学校教諭専修免許状	英語	
		ドイツ語コース	中学校教諭専修免許状	ドイツ語
高等学校教諭専修免許状	ドイツ語			
教育学研究科	学校教育専攻 学校教育専修	小学校教諭専修免許状		
		中学校教諭専修免許状	国語	
		中学校教諭専修免許状	社会	
		中学校教諭専修免許状	数学科	
		中学校教諭専修免許状	理科	
		中学校教諭専修免許状	音楽	
		中学校教諭専修免許状	美術	
		中学校教諭専修免許状	保健体育	
		中学校教諭専修免許状	技術	
		中学校教諭専修免許状	家庭	
		中学校教諭専修免許状	英語	
		高等学校教諭専修免許状	国語	
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史	
		高等学校教諭専修免許状	公民	
		高等学校教諭専修免許状	数学科	
		高等学校教諭専修免許状	理科	
		高等学校教諭専修免許状	音楽	
		高等学校教諭専修免許状	美術	
		高等学校教諭専修免許状	書道	
		高等学校教諭専修免許状	保健体育	
		高等学校教諭専修免許状	家庭	
高等学校教諭専修免許状	英語			

		養護学校教諭専修免許状	
		幼稚園教諭専修免許状	
教科教育専攻	国語教育専修	小学校教諭専修免許状	国語
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	国語道
		高等学校教諭専修免許状	
	社会科教育専修	幼稚園教諭専修免許状	社会
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	地理歴史
		高等学校教諭専修免許状	
	数学教育専修	高等学校教諭専修免許状	公民
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	
	理科教育専修	幼稚園教諭専修免許状	理科
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	
	音楽教育専修	小学校教諭専修免許状	音楽
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	音楽
		幼稚園教諭専修免許状	
	美術教育専修	小学校教諭専修免許状	美術
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	美術
		幼稚園教諭専修免許状	
	保健体育専修	小学校教諭専修免許状	保健体育
		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	保健体育
		幼稚園教諭専修免許状	
	技術教育専修	中学校教諭専修免許状	技術
		小学校教諭専修免許状	
	家政教育専修	中学校教諭専修免許状	家庭
		高等学校教諭専修免許状	
	英語教育専修	中学校教諭専修免許状	英語
		高等学校教諭専修免許状	
経済学研究科	地域・経済政策専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	
	企業経営専攻	高等学校教諭専修免許状	商業
理工学研究科	数学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状	
		物理学専攻	
			理科

		高等学校教諭専修免許状	理科
化学専攻		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
生物学専攻		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
地球科学専攻		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
生物圏環境科学専攻		中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	理科
電気電子システム工学		高等学校教諭専修免許状	工業
知能情報工学専攻		高等学校教諭専修免許状	工業
機械知能システム工学専攻		高等学校教諭専修免許状	工業
物質生命システム工学専攻		高等学校教諭専修免許状	工業

## 附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 別表第1に定める収容定員は、平成13年度及び平成14年度は、次のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻等名	平成13年度	平成14年度
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	10人	10人
		地域文化研究専攻	10	10
		計	20	20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	12	12
		教科教育専攻	58	64
		計	70	76
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	8	8
		企業経営専攻	8	8
		計	16	16
理工学研究科	博士前期課程	数学専攻	24	24
		物理学専攻	24	24
		化学専攻	20	20
		生物学専攻	20	20
		地球科学専攻	20	20
		生物圏環境科学専攻	20	20
		電気電子システム工学専攻	33	66
		知能情報工学専攻	27	54
		機械知能システム工学専攻	33	66
		物質生命システム工学専攻	60	120
		小計	281	434
	博士後期課程	システム科学専攻	21	21
		物質科学専攻	21	21
		エネルギー科学専攻	15	15
		生命環境科学専攻	15	15
小計		72	72	
	計	353	506	

合 計

459

618

- 3 平成13年3月31日における理工学研究科博士前期課程電子情報工学、機械システム工学専攻、物質工学専攻及び化学生物工学専攻については、平成13年3月31日に当該研究科に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

## 富山大学学位規則の一部改正

### 富山大学学位規則の改正理由

- 1 教育学部の課程改組に伴い、所要事項を改める。
- 4 大学院理工学研究科（博士前期課程）の専攻名の変更に伴い、所要事項を改める。

富山大学学位規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学学位規則の一部を改正する規則

富山大学学位規則（昭和40年1月22日制定）の一部を次のように改正する。

第3条の2の表中

教育学部	学校教育教員養成課程 総合教育課程	教育学	を
教育学部	学校教育教員養成課程 生涯教育課程 情報教育課程	教育学	に
理工学研究科	電子情報工学専攻 機械システム工学専攻 物質工学専攻 化学生物工学専攻	工学	を
理工学研究科	電気電子システム工学専攻 知能情報工学専攻 機械知能システム工学専攻 物質生命システム工学専攻	工学	に改める。

別記様式第2号（第13条の2関係）第3条第2項の規定により授与する学位の様式（修士課程又は博士前期課程を修了した場合）

「文、	「文、
教、	教、
経、	経
中 理 を	又 に改める。
又	は
は	理
工」	工」



## 附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、改正後の第3条の2「学士の学位に付記する専攻分野の名称」中、教育学部の改正については、平成11年度以後の入学者から適用する。

## 富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員選考規則の制定

### 富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員選考規則の制定理由

富山大学に学内共同教育施設として、富山大学極東地域研究センターが設置されるため、所要事項を定める。

富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員選考規則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員選考規則

#### (趣 旨)

第1条 この規則は、富山大学極東地域研究センター規則第4条第3項及び第6条第2項の規定に基づき、富山大学極東地域研究センターのセンター長及び教員の選考に関し、必要な事項を定めるものとする。

#### (センター長の選考)

第2条 センター長の選考は、富山大学極東地域研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）の推薦に基づき、学長が行う。

2 運営委員会は、前項の推薦に当たって、本学の教授及び教授予定者のうちから選定するものとする。

#### (センター長の選考時期)

第3条 センター長の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- (1) センター長の任期が満了するとき。
- (2) センター長が辞任を申し出たとき。
- (3) センター長が欠員になったとき。

2 前項第1号に該当する場合の選考は、任期満了の30日前までに、同項第2号又は第3号に該当する場合は、速やかにこれを行わなければならない。

#### (教員の選考)

第4条 教員の選考は、運営委員会の議を経て、学長が行う。

#### (選考委員会)

第5条 運営委員会は、教員候補者を選考する場合、選考委員会を設ける。

2 選考委員会は、センター長及び運営委員会が選出した教授（原則として4人）をもって構成する。

3 選考委員会は、富山大学教員資格基準により教員候補者を審査選定し、運営委員会に報告する。

#### (教員候補者の内申)

第6条 運営委員会は、前条第3項の教員候補者について可否を決定する。

2 前項の決定に当たっては、構成員の3分の2以上の出席する会議において、その3分の2以上の同意を要するものとする。

3 センター長は、運営委員会において決定した教員候補者を学長に内申する。

#### 附 則

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日前に、富山大学環日本海地域研究センター規則第5条に定める運営委員会の議に基づき選出されたセンター長及び教員の選考については、この規則に基づき行われたものとみなす。

## 富山大学総務委員会規則の一部改正

### 富山大学総務委員会規則の改正理由

富山大学総務委員会に専門委員会を設置するため、所要事項を改める。

富山大学総務委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月16日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学総務委員会規則の一部を改正する規則

富山大学総務委員会規則（平成12年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

第10条を第11条とし、第9条を第10条とし、第8条の次に次の1条を加える。

（専門委員会）

第9条 委員会に専門委員会を置く。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

## 富山大学極東地域研究センター規則の制定

### 富山大学極東地域研究センター規則の制定理由

富山大学に学内共同教育研究施設として、富山大学極東地域研究センターが設置されるため、所要事項を定める。

富山大学極東地域研究センター規則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学極東地域研究センター規則

（趣 旨）

第1条 この規則は、富山大学学則第9条第2項の規定に基づき、富山大学極東地域研究センター（以下「センター」という。）に関し、必要な事項を定める。

（目 的）

第2条 センターは、極東地域における学術的、総合的  
地域研究を行うとともに同地域における学術交流の推  
進を図り、もって本学の教育研究の進展並びに同地域  
の調和ある持続的発展と安定化に資することを目的と

する。

（職 員）

第3条 センターに、次に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 専任の教員
- (4) その他必要な職員  
(センター長)

第4条 センター長は、センターの業務を掌理する。

- 2 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 センター長の選考については、別に定める。

(副センター長)

第5条 副センター長は、センター長を補佐し、センターの業務を整理する。

2 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

3 副センター長の選考については、センターの教授のうちから、第7条に定める運営委員会の議に基づき、学長が行う。

(専任の教員)

第6条 専任の教員は、センターの業務に従事する。

2 専任の教員の選考については、別に定める。

(運営委員会)

第7条 センターに、センターの管理及び運営に関する重要事項を審議するため、富山大学極東地域研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

(運営委員会の審議事項)

第8条 運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 管理運営の基本方針に関すること。
- (2) センター長、副センター長及び専任の教員の人事に関すること。
- (3) その他センターに関する重要事項

(運営委員会の組織)

第9条 運営委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) センターの教授
- (4) 経済学部から選出された教授 3人
- (5) 理学部から選出された教授 2人
- (6) 人文学部、教育学部及び工学部から選出された教授 各1人

2 前項第4号から第6号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第10条 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(運営委員会の議事)

第11条 運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会できない。議事は、出席委員の過半数をもって決

する。ただし、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

2 前項の規定にかかわらず、第8条第2号の事項を審議する会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければ開会できない。議事は、出席者の3分の2以上をもって決する。

(意見の聴取)

第12条 運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第13条 運営委員会に、専門的事項を検討するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が別に定める。

(共同研究の推進)

第14条 センターにおいて、第2条の目的を達成するため、他の大学又は研究機関の研究者（以下「共同研究者」という。）と共同して研究を行うことができる。

2 共同研究員の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(雑 則)

第15条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

(庶 務)

第16条 センターの庶務は、総務部研究協力課において処理する。

附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 富山大学環日本海地域研究センター規則（平成9年10月1日制定）は、廃止する。
- 3 この規則施行の際、現に富山大学環日本海地域研究センター運営委員会規則第7条第1項第2号の委員である者は、この規則により委員に任命されたものとみなし、任期は、第9条第2項の規定にかかわらず、平成14年3月31日までとする。

## 富山大学人文学部規則の一部改正

## 富山大学人文学部規則の改正理由

専門科目のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学人文学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月16日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学人文学部規則の一部を改正する規則

富山大学人文学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）中専門科目の表を次のように改める。

## 人文学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
人間基礎論入門	4	文書館学Ⅰ	2	文化構造特殊講義	18
古典ギリシア語	4	文書館学Ⅱ	2	芸術文化史	2
ラテン語中級	4	文書館学Ⅲ	2	コミュニケーションと社会	2
哲学概論	6	文書館学実習	3	美術史	2
西洋思想史Ⅰ	8	日本史基礎演習	4	言語学概論	4
西洋思想史Ⅱ	8	東洋史概説	8	音声学	4
哲学特殊講義	8	東洋史特殊講義	12	言語学実験実習	2
哲学演習	8	東洋史演習	24	言語学演習	16
哲学講読	8	東洋史実習	2	言語学特殊講義	18
文化基礎論講読	2	東洋史基礎演習	4	個別言語論	4
美学	2	東アジア交流史特殊講義	2	心理学概論	4
論理学	2	西洋史概説	8	心理学実験Ⅰ	4
倫理思想	4	西洋史特殊講義	12	心理学実験Ⅱ	4
宗教思想	4	西洋史演習	28	心理学演習	10
東洋思想史	4	西洋史実習	2	心理学特殊講義	18
現代と思想	4	西洋史基礎演習	4	心理学研究法	2
比較思想	4	史学概論	2	社会学概論	4
人間学特殊講義	6	史学史	2	社会学実習	5
人間学演習	10	東西交流史特殊講義	2	社会学演習	8
人間学講読	8	行動文化入門	4	社会学講読	8
世界史序説	4	行動文化研究法	4	社会学特殊講義	18
日本史概説	8	行動文化特殊講義	6	社会調査法	8
日本史特殊講義	18	文化構造概論	6	社会経済史	4
日本史演習	24	文化構造実習	4	法制史	2
日本史実習	6	文化構造演習	12	総合演習	2
日本史史料講読	6	文化構造講読	12	卒業研究	10
古文書学実習	6				

## 国際文化学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国際文化入門	4	中国文化講読	4	人文地理学演習	8
国際文化概論	4	ロシア文化講読	4	人文地理学講読	4
情報文化論	2	アメリカ文化講読	4	人文地理学実習	6
都市研究	2	日本語・日本文化論講読	4	文化人類学概論	4
国際地域研究(地誌学)	2	外国語演習	4	文化人類学特殊講義	10
マイノリティ研究	2	日本語表現法	4	文化人類学演習	8
国際社会研究(政治学)	8	日本の社会と文化	4	文化人類学講読	4
民俗学	2	日本の歴史と思想	4	文化人類学実習	3
地球環境研究(自然地理学)	2	比較日本文化論	2	比較社会概論	4
国際動態研究	2	自然人類学	2	比較社会論特殊講義	8
国際文化関係論特殊講義	2	ヨーロッパ文化論	2	比較社会論演習	8
国際文化論演習Ⅰ	2	文化環境論演習	4	比較社会論講読	4
国際文化論演習Ⅱ	2	文化環境論講読	2	比較社会論実習	4
国際文化論実習	2	考古学概論	4	比較文学概論	8
日本文化特殊講義	4	考古学特殊講義	20	比較文学特殊講義	16
中国文化特殊講義	4	考古学演習	8	比較文学演習	14
ロシア文化特殊講義	4	考古学講読	2	比較文学講読	14
アメリカ文化特殊講義	4	考古学実習	6	日本史概説	4
朝鮮文化特殊講義	4	博物館学Ⅰ	2	東洋史概説	4
日本文化演習	8	博物館学Ⅱ	2	西洋史概説	4
中国文化演習	8	博物館学Ⅲ	2	法制史	2
ロシア文化演習	8	博物館実習	3	国際公法	4
アメリカ文化演習	8	生涯学習概論	2	教育学哲学	2
朝鮮文化演習	4	視聴覚教育メディア論	2	政治学	2
日本文化論演習	4	人文地理学概論	4	総合演習	2
日本文化講読	4	人文地理学特殊講義	12	卒業研究	10

## 言語文化学科

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本東洋言語文化特殊講義	4	中国語作文	4	ドイツ言語文化演習	18
日本語学演習	20	アメリカ文学史	6	ドイツ言語文化講読	20
日本文学演習	20	イギリス文学史Ⅰ	2	ドイツ文化論	6
日本語学講読	16	イギリス文学史Ⅱ	2	ドイツ文学史	10
日本文学講読	16	英米言語文化基礎講義	2	ドイツ言語文化特殊講義	12
日本語学特殊講義	20	英米言語文化特殊講義	16	ドイツ語会話	10
日本語学概論	4	英米言語文化講読A	8	ドイツ語作文	4
日本文学史	10	英米言語文化講読B	12	フランス言語文化演習	12
書道史	4	英米言語文化演習A	4	フランス言語文化講読	12
朝鮮言語文化演習	8	英米言語文化演習	16	フランス文化論	6
朝鮮言語文化講読	8	英語史Ⅰ	2	フランス文学史	6
朝鮮言語文化概論	10	英語史Ⅱ	2	フランス言語文化特殊講義	12

朝鮮言語文化特殊講義	10	英文法Ⅰ	2	フランス語会話	6
朝鮮語会話	10	英文法Ⅱ	2	フランス語作文	4
朝鮮語作文	2	英語学特殊講義	8	比較言語文化講読	4
朝鮮史	2	英語学講読A	2	ロシア言語文化演習	12
朝鮮学入門	2	英語学講読B	4	ロシア言語文化講読	12
中国言語文化演習	12	英語学演習A	2	ロシア文化論	6
中国言語文化講読	12	英語学演習B	8	ロシア言語文化特殊講義	16
中国言語文化概論	6	英米文化論	2	ロシア語会話	6
中国言語文化特殊講義	18	英語コミュニケーション(作文)	4	専門基礎ロシア語	2
中国文化論	2	英語コミュニケーション(会話)	4	総合演習	2
中国語会話	8	専門基礎ドイツ語	2	卒業研究	10

## 附 則

- この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学教育学部附属学校園の学校評議員に関する規則の制定

## 富山大学教育学部附属学校園の学校評議員に関する規則の制定理由

国立学校設置法施行規則（昭和39年文部省令第11号）第26条の4の規定に基づき、富山大学附属学校園に学校評議員を置くため、所要事項を定める。

富山大学教育学部附属学校園の学校評議員に関する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月16日

富山大学長 時 澤 頁

## 富山大学教育学部附属学校園の学校評議員に関する規則

## (設 置)

第1条 富山大学教育学部附属小学校、中学校、養護学校及び幼稚園（以下「各校」という）に、国立学校設置法施行規則（昭和39年文部省令第11号）第26条の4の規定に基づき、学校評議員を置く。

## (目 的)

第2条 学校評議員は、各校長（附属幼稚園にあつては「園長」とする。以下同じ。）の求めに応じて学校運営の基本方針並びに重要な活動に関する事項について意見を述べるものとする。

2 各校長が協議し必要と認めた場合には、各校若干人の学校評議員に附属学校全体の学校運営に関し意見を求めることができるものとする。

## (組 織)

第3条 学校評議員は、富山大学の職員以外の者で教育

に関する理解及び識見を有する者のうちから、各校長の推薦により学長が委嘱する。

2 前項の学校評議員の数は、各校それぞれ若干人とする。

3 前条第2項の学校評議員は、各校学校評議員のうちから各校長が指名するものとする。

## (任期等)

第4条 学校評議員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の学校評議員に欠員を生じた場合の後任の学校評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 学校評議員は、非常勤とする。

## (学校評議員の会議)

第5条 各校長は、必要に応じて学校評議員の会議を開き、学校評議員の意見を求めることができる。

## (守秘義務)

第6条 学校評議員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。また、その職を退いた後といえ

ども同様とする。

(庶務)

第7条 学校評議員に関する庶務は、教育学部事務部に  
おいて処理する。

附 則

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

## 富山大学理学部規則の一部改正

### 富山大学理学部規則の改正理由

生物圏環境科学科の専門科目のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月16日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）専門科目中生物圏環境科学科の表を次のように改める。

#### 生物圏環境科学科

専 門 基 礎 科 目	単 位 数		専 攻 科 目	単 位 数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ		2	環境生物学概論	2	
微分積分学Ⅱ		2	生物物理化学	2	
線形代数学		2	生物化学		1
応用数学基礎		2	基礎植物形態学		1
物理学序説Ⅰ		2	基礎動物形態学		1
物理学序説Ⅱ		2	環境植物生理学	2	
物理学概論Ⅰ		2	生理化学		2
物理学概論Ⅱ		2	基礎系統学		1
化学序説Ⅰ		2	基礎分類学		1
化学序説Ⅱ		2	生体応答学	2	
化学概論Ⅰ		2	植物生態学	2	
化学概論Ⅱ		2	環境微生物学		2
生物学序説Ⅰ		2	基礎遺伝学		1
生物学序説Ⅱ		2	基礎細胞学		1
生物学概論Ⅰ		2	生体エネルギー論	2	
生物学概論Ⅱ		2	細胞機能論		2
地球科学序説Ⅰ		2	植生変動論		2
地球科学序説Ⅱ		2	生体調節学		2
地球科学概論Ⅰ		2	動物生理学特別講義		1
地球科学概論Ⅱ		2	植物生理学特別講義		1
放射線基礎学		2	生体応答学特別講義		1

基礎物理学実験	1	生態学	1
基礎化学実験	1	放射線生物学	1
基礎生物学実験	1	放射線生物学特別講義	1
基礎地球科学実験	1	生物圏機能実験	6
総合演習	2	環境物理化学	2
学外体験実習	1又は2	環境化学概論	2
		環境基礎化学	2
		水環境化学	2
		環境無機化学	2
		基礎有機化学	2
		一般地質学	2
		環境化学計測	2
		地球化学	2
		環境化学演習	2
		有機化学	2
		環境同位体学	2
		層序学	2
		陸水化学	2
		環境地球化学	2
		環境保全化学	2
		環境地球化学特別講義	2
		計測化学特別講義	1
		環境計測特別講義	1
		環境化学計測実験	6
		科学英語	4
		野外実習Ⅰ	2
		野外実習Ⅱ	2
		生物圏環境科学特別講義	*
		卒業論文	12

\*印を付した生物圏環境科学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

別表Ⅱ（第4条関係）を次のように改める。

別表Ⅱ（第4条関係）

卒業に必要な修得単位数

区 分	数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		地 球 学 科		生 物 圏 環 境 学 科		
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
教養科目	教養原論 (人文科学・社会科学系)	12又は14		12又は14		12又は14		12又は14		12又は14		12又は14	
	総合科目	6又は4		6又は4		6又は4		6又は4		6又は4		6又は4	
	小 計		18		18		18		18		18		18
共通基 礎科目	外国語科目 (英語を含む2ヶ国語)		8		8		8		8		8		8
	保健体育科目		2		2		2		2		2		2
	情報処理科目又 は言語表現科目		2		2		2		2		2		2
	小 計		12		12		12		12		12		12



専門科目	専門基礎科目	12	8	10	10	1	19		20		20		20
	専攻科目	42	22	50	14	51	13	34	30	31	33	50	14
	小計	54	30	60	24	52	32	34	50	31	53	50	34
自由(選択)科目			10		10		10		10		10		10
合計		124		124		124		124		124		124	

- 1 教養原論は、人文科学系及び社会科学系から各4単位以上選択し、12単位又は14単位を修得すること。
- 2 外国語は2ヶ国語(英語を含む。)を各4単位、計8単位以上を修得すること。
- 3 外国人留学生に対し、日本事情及び日本語に関する科目を開講しているが、修得方法は別に定める。
- 4 専攻科目の選択は、他学科の専攻科目(一部の科目を除く。)のうちからも選択することができる。
- 5 専門基礎科目の学外体験実習の修得単位は、自由(選択)科目として認定する。

## 附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正

## 富山大学大学院経済学研究科規則の改正理由

授業科目の増設及び見直しを行い、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月16日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院経済学研究科規則(平成3年3月30日制定)の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

## 別 表

各専攻授業科目及び単位数

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考
地 域・ 経 済 政 策 専 攻	理論経済学		
	現代経済のモデル分析特殊研究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	○現代経済のモデル分析演習	8	
	経済変動と安定化特殊研究	2	
	○経済変動と安定化演習	8	
	政治経済学特殊研究	2	
	○政治経済学演習	8	
	経済哲学特殊研究	2	
	○経済哲学演習	8	
	経済学史特殊研究	2	
○経済学史演習	8		
情報資本主義分析特殊研究	2		
○情報資本主義分析演習	8		

地 域 ・ 経 済 政 策 専 攻	比較経済論	理論経済学特殊研究	2
		○理論経済学演習	8
		数理経済学特殊研究	2
		○数理経済学演習	8
		経済理論特殊研究	2
		○経済理論演習	8
		西洋経済史特殊研究	2
		○西洋経済史演習	8
		日本経済史特殊研究	2
		○日本経済史演習	8
		環境勘定監査論特殊研究	2
		○環境勘定監査論演習	8
		産業立地と地域開発特殊研究	2
		○産業立地と地域開発演習	8
		比較社会学特殊研究	2
	○比較社会学演習	8	
	政策科学	経済発展と産業政策特殊研究	2
		○経済発展と産業政策演習	8
		東南アジアの経済開発特殊研究	2
		○東南アジアの経済開発演習	8
		中国経済特殊研究	2
		○中国経済演習	8
		ロシア経済特殊研究	2
		○ロシア経済演習	8
		経済政策と地域産業構造論特殊研究	2
		○経済政策と地域産業構造論演習	8
		資源計画特殊研究	2
		○資源計画演習	2
		社会政策特殊研究	8
		○社会政策演習	8
計量経済学特殊研究		2	
○計量経済学演習	8		
応用経営学	労働のマクロ経済分析特殊研究	2	
	○労働のマクロ経済分析演習	8	
	労働のミクロ経済分析特殊研究	2	
	○労働のミクロ経済分析演習	8	
	農業政策特殊研究	2	
	○農業政策演習	8	
	金融論特殊研究	2	
	○金融論演習	8	
	財政学特殊研究	2	
	○財政学演習	8	
公共経済学特殊研究	2		

	○公 共 経 済 学 演 習	8		
	○金 融 制 度 と 経 済 構 造 特 殊 研 究	2		
	○金 融 制 度 と 経 済 構 造 演 習	8		
	○経 済 計 画 理 論 特 殊 研 究	2		
	○経 済 計 画 理 論 演 習	8		
	○国 際 経 済 学 特 殊 研 究	2		
	○国 際 経 済 学 演 習	8		
	○外 国 経 済 学 書 研 究	2		
企 業 経 営 専 攻	経 営 学	財 務 管 理 論 特 殊 研 究	2	○印の授業科目のうち1科目を必修とする。
	○財 務 管 理 論 演 習	8		
	○経 営 組 織 論 特 殊 研 究	2		
	○経 営 組 織 論 演 習	8		
	○経 営 戦 略 論 特 殊 研 究	2		
	○経 営 戦 略 論 演 習	8		
	○経 営 史 特 殊 研 究	2		
	○経 営 史 演 習	8		
	○企 業 人 材 開 発 論 特 殊 研 究	2		
	○企 業 人 材 開 発 論 演 習	8		
	○財 務 会 計 論 特 殊 研 究	2		
	○財 務 会 計 論 演 習	8		
	○会 計 デ ィ ス ク ロ ー ジ ャ ー 特 殊 研 究	2		
	○会 計 デ ィ ス ク ロ ー ジ ャ ー 演 習	8		
	○制 度 会 計 論 特 殊 研 究	2		
	○制 度 会 計 論 演 習	8		
	○経 営 管 理 論 特 殊 研 究	2		
	○経 営 管 理 論 演 習	8		
	○人 事 戦 略 特 殊 研 究	2		
	○人 事 戦 略 演 習	8		
	○人 的 資 源 管 理 特 殊 研 究	2		
	○人 的 資 源 管 理 演 習	8		
	○比 較 経 営 論 特 殊 研 究	2		
	○比 較 経 営 論 演 習	8		
	○国 際 経 営 論 特 殊 研 究	2		
	○国 際 経 営 論 演 習	2		
○会 計 情 報 開 示 論 特 殊 研 究	8			
○サ ー ビ ス 経 営 教 育 論 特 殊 研 究	2			
○サ ー ビ ス 経 営 教 育 論 演 習	8			
応 用 経 営	○マ ー ケ テ ィ ン グ 論 特 殊 研 究	2		
	○マ ー ケ テ ィ ン グ 論 演 習	8		
	○リ ス ク ・ マ ネ ジ メ ン ト 特 殊 研 究	2		
	○リ ス ク ・ マ ネ ジ メ ン ト 演 習	8		
	○管 理 会 計 論 特 殊 研 究	2		
	○管 理 会 計 論 演 習	8		

企  
業  
經  
營  
專  
攻

管 理 科 学

基 礎 法

流 通 論 特 殊 研 究	2
○流 通 論 演 習	8
多 国 籍 企 業 論 特 殊 研 究	2
○多 国 籍 企 業 論 演 習	8
交 通 論 特 殊 研 究	2
○交 通 論 演 習	8
意 思 決 定 論 特 殊 研 究	2
○意 思 決 定 論 演 習	8
オペレーションズ・リサーチ特殊研究	2
○オペレーションズ・リサーチ演習	8
經 営 情 報 論 特 殊 研 究	2
○經 営 情 報 論 演 習	8
情 報 シ ス テ ム 特 殊 研 究	2
○情 報 シ ス テ ム 演 習	8
数 理 計 画 法 特 殊 研 究	2
○数 理 計 画 法 演 習	2
生 産 管 理 論 特 殊 研 究	8
○生 産 管 理 論 演 習	2
經 営 情 報 処 理 特 殊 研 究	8
ヨ ー ロ ッ パ 法 思 想 史 特 殊 研 究	2
○ヨ ー ロ ッ パ 法 思 想 史 演 習	8
政 治 学 特 殊 研 究	2
○政 治 学 演 習	8
政 策 過 程 論 特 殊 研 究	2
○政 策 過 程 論 演 習	8
英 米 公 法 特 殊 研 究	2
○英 米 公 法 演 習	8
行 政 法 特 殊 研 究	2
○行 政 法 演 習	8
政 治 史 特 殊 研 究	2
○政 治 史 演 習	8
憲 法 特 殊 研 究	2
○憲 法 演 習	8
憲 法 基 礎 理 論 特 殊 研 究	2
○憲 法 基 礎 理 論 演 習	8
刑 法 特 殊 研 究	2
○刑 法 演 習	8
經 済 刑 法 特 殊 研 究	2
○經 済 刑 法 演 習	8
比 較 刑 事 法 特 殊 研 究	2
○比 較 刑 事 法 演 習	8
税 法 特 殊 研 究	2
○税 法 演 習	8

民 事 法	民 法 特 殊 研 究	2	
	○民 法 演 習	8	
	比 較 民 法 解 釈 学 特 殊 研 究	2	
	○比 較 民 法 解 釈 学 演 習	8	
	比 較 民 法 特 殊 研 究	2	
	○比 較 民 法 演 習	8	
	不 動 産 法 特 殊 研 究	2	
	○不 動 産 法 演 習	8	
	債 権 法 特 殊 研 究	2	
	○債 権 法 演 習	8	
	金 融 取 引 法 特 殊 研 究	2	
	○金 融 取 引 法 演 習	8	
	民 事 手 続 法 特 殊 研 究	2	
	○民 事 手 続 法 演 習	8	
	企業関係法	企 業 会 計 法 特 殊 研 究	2
		○企 業 会 計 法 演 習	8
		企 業 内 容 開 示 制 度 と 法 特 殊 研 究	2
		○企 業 内 容 開 示 制 度 と 法 演 習	8
		経 済 法 特 殊 研 究	2
		○経 済 法 演 習	8
商 取 引 法 特 殊 研 究		2	
○商 取 引 法 演 習		8	
企 業 組 織 法 特 殊 研 究		2	
○企 業 組 織 法 演 習		8	
証 券 取 引 法 特 殊 研 究		2	
○証 券 取 引 法 演 習		8	
労 働 法 特 殊 研 究		2	
○労 働 法 演 習		8	
金 融 法 特 殊 研 究		2	
○金 融 法 演 習		8	
国 際 商 事 仲 裁 法 特 殊 研 究	2		
○国 際 商 事 仲 裁 法 演 習	8		
外 国 經 営 書 研 究	2		

## 備 考

この表に掲げる授業科目のほか、特別研究を設けることができる。

## 附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学教育学部規則の一部改正

### 富山大学教育学部規則の改正理由

- 1 教育職員免許法等の一部を改正する法律（平成12年法律第29号）に基づき、所要事項を改める。
- 2 教育方法についてより一層の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年 3 月16日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年 4 月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表 I 卒業に必要な単位数学校教育教員養成課程の表を次のように改める。

別表 I

### 卒 業 に 必 要 な 単 位 数

#### 学校教育教員養成課程

専 攻		A 群			B 群			C 群			D 群			E 群		
授業科目の区分																
教養科目	人文科学系	2			2			2			2			2		
	社会科学系	2	6		2	6		2	6		2	6		2	6	
	自然科学系	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2
	総合科目	4			4			4			4			4		
	計	18			18			18			18			18		
共通基礎科目	外国語科目	8(2力国語各4)			8(2力国語各4)			8(2力国語各4)			8(2力国語各4)			8(2力国語各4)		
	保健体育科目	2			2			2			2			2		
	情報処理科目	2			2			2			2			2		
	言語表現科目	2			2			2			2			2		
小 計		30			30			30			30			30		
専門科目	学部共通科目 (別表 II 参照)	4			4			4			4			4		
	教 科 (別表 V・VI 参照)	8			6			4			10~18			20		
	教 職 (別表 III 参照)	43			37			37			27			31		
	教科又は教職	6			6			0			0			4		
	は教職	4			4			4			4			4		
	専攻科目 (別表 VI 参照)	10			10			23			23			10		
	特別研究	6			6			6			6			6		
小 計		81			73			78			74~82			79		
自由選択		23			31			26			30~22			25		
合 計		134			134			134			134			134		

A 群：学校教育教員養成課程 教育学，学校心理学専攻並びに国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，家政教育，音楽教育，美術教育及び保健体育専攻の小学校主免

- B群：学校教育教員養成課程 幼児教育専攻  
 C群：学校教育教員養成課程 障害児教育専攻の小学校主免  
 D群：学校教育教員養成課程 障害児教育専攻の中学校主免  
 E群：学校教育教員養成課程 英語教育、技術教育専攻並びに国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、家政教育、音楽教育、美術教育及び保健体育専攻の中学校主免

備 考

1. 学校教育教員養成課程の学生は、教養科目及び共通基礎科目の履修に際し、日本国憲法（2単位）、健康スポーツ（1単位）、健康スポーツ論（1単位）又は健康・スポーツ演習（1単位）、情報処理（2単位）を必ず修得しなければならない。
2. D群の教科及び自由選択の単位数は、専攻教科により異なる。
3. 自由選択に教養科目及び共通基礎科目の単位を10単位まで含むことができる。

別表Ⅳを次のように改める。

別表Ⅳ

教科の指導法等に関する科目

学校教育教員養成課程

授 業 科 目	開設 単 位	A群	C 群		D群	E群	
		必 修	必 修	選 必	選 択	必 修	必 修
教 育 課 程 と 方 法	2	2	2			2	2
国 語 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2			8		
社 会 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2					
算 数 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2					
理 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2					
生 活 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2					
音 楽 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2		2			
図 画 工 作 教 育 法 ( 初 等 )	2	2		2			
家 庭 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2					
体 育 科 教 育 法 ( 初 等 )	2	2		2			
国 語 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	1 教 科 6 単 位
社 会 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
数 学 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
理 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
音 楽 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
美 術 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
保 健 体 育 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
技 術 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
家 庭 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
英 語 科 教 育 法 ( 中 等 )	6				2	6	
地 理 歴 史 科 教 育 法	6						
公 民 科 教 育 法	6						
書 道 科 教 育 法	6						
情 報 科 教 育 法 I	6						
情 報 科 教 育 法 II	6						
計	96	20	2	4	8	4	8
			14				

別表Ⅵ専攻科目中1 学校教員養成課程(3)言語・社会系②英語教育、(4)自然・生活系③技術教育及び④家政教育、(5)芸術・体育系①音楽教育及び②美術教育並びに3 情報教育課程の表を次のように改める。

②英語教育

専門科目 区分等	授業科目	開設 単位	英語教育専攻		障害児教育専攻	
			必修	選択	〔中〕	
					必修	選択
英 語 学	英語音声学Ⅰ	2	2			2
	英語音声学Ⅱ	2		2		
	英文法Ⅰ	2	2			2
	英文法Ⅱ	2		2		
	英語史	2		2		2
	英語学演習	4	1	3		2
	英語学講読	4	1	3		2
	言語学概論	2		2		
英 米 文 学	英米文学概論	2	2			2
	英文学史	2		2		
	米文学史	2		2		
	英米文学演習	4	1	3		2
	英米文学講読Ⅰ	4	1	3		2
	英米文学講読Ⅱ	6	2	4		2
英語コミュニ ケーション	英会話Ⅰ (オーラルコミュニケーション)	4	2	2	1	1
	英会話Ⅱ (オーラルコミュニケーション)	4	1	3		1
	英作文Ⅰ	4	2	2	1	1
	英作文Ⅱ	4	1	3		1
異文化理解	異文化理解と外国事情	2	2		2	
英語科教育	英語教育各論	2		2		
	英語教育演習	2		2		
	英語科特別講義	8		8		
特設科目						
計		70	20	14	4	6
			34		10	
特 別 研 究		必修6単位				

備考1 教科又は教職(教科分)の単位の取扱い

〔中〕4単位：専攻科目34単位に含まれている。

2 副免で英語2種を取る場合は、障害児教育と同じ科目を履修すること。

③技術教育

専門科目 区分等	授業科目	開設 単位	技術教育専攻		障害児教育専攻
			必修	選択	〔中〕
					必修
木 材 加 工	製図Ⅰ	1	1		1
	木材加工学	2		2	
	木材加工・同実習	2			1
金 属 加 工	製図Ⅱ	1	1		
	金属加工学	2		2	
	金属加工・同実習	2			2



機 械	機械工学概論	2	2		2
	機械材料学	2		2	
	機械・同実習Ⅰ	2	2		2
	機械・同実習Ⅱ	2		2	
電 気	電気・電子工学概論	2	2		2
	電気応用	2		2	
	電気・同実習Ⅰ	2	2		2
	電気・同実習Ⅱ	2		2	
栽 培	栽培学	2		2	
	園芸学	2		2	
	応用昆虫学	2		2	
	栽培・同実習	2	2		2
情報と コンピュータ	情報基礎論	2		2	
	プログラミングⅠ	2	2		
	プログラミングⅡ	2		2	
	情報とコンピュータ・同実習	2	2		2
技術科教育	技術科教育ゼミナール	4		4	
特 設 科 目					
計		46	20	14	18
			34		
特 別 研 究		必修6単位			

備 考 教科又は教職（教科分）の単位の取扱い  
 [中] 4単位：専攻科目34単位に含まれている。

## ④家政教育

専 門 科 目 区 分 等	授 業 科 目	開 設 単 位	家 政 教 育 専 攻				障害児教育専攻
			〔小〕		〔中〕		〔中〕
			必 修	選 択	必 修	選 択	必 修
家 庭 経 営 学	家庭管理学	2				2	
	家庭管理学演習	2				2	
	◎家族関係学	2		2	2		2
	家庭経済学	2		2	2		2
	家政学原論	2				2	
被 服 学	◎被服材料学	2	2		2		2
	被服管理学	2				2	
	被服構成学	2		2		2	
	被服衛生学	2				2	
	被服材料学実験	1				1	
	被服管理学実験	1				1	
	被服科学実験	1		1	1		
	被服構成学実習Ⅰ	1		1	1		1
被服構成学実習Ⅱ	1				1		
食 物 学	栄養学	2		2	2		2
	◎食品学	2	2		2		2
	食品衛生学	2				2	
	調理科学	2		2		2	

	栄養学演習	2			2		
	食品学実験	1			1		
	食物科学実験	1	1	1			
	調理学実習Ⅰ	1	1	1		1	
	調理学実習Ⅱ	1			1		
住 居 学	◎住環境論	2	2		2	2	
	住生活論	2			2		
	住居学演習	2			2		
	製図	1	1		1		
保 育 学	保育学Ⅰ (実習及び家庭看護を含む。)	2		2	2	2	
	保育学Ⅱ	2			2		
家庭電気・機械 及び情報処理	家庭電気・機械	2		2	2	2	
	情報処理	2		2	2		
家庭科教育	家庭科教育論	2			2		
	家庭科教育各論	2			2		
	家庭科教育演習	2			2		
	家庭科教育ゼミナール	2			2		
	家庭科特別講義	6			6		
特 設 科 目							
計		66	6	10	18	16	18
			16		34		
特 別 研 究		必修6単位					

備考1 ◎印は、小学校の教科に関する科目を兼ねる。

2 教科又は教職(教科分)の単位の取扱い

[小] 6単位：専攻科目16単位に含まれている。

[中] 4単位：専攻科目34単位に含まれている。

(5) 芸術・体育系

①音楽教育

専門科目 区分等	授業科目	設定 単位	家 政 教 育 専 攻					障害児教育専攻
			〔小〕		〔中〕			〔中〕
			必 修	選 択	必 修	選択必修	選 択	必 修
ソルフェージュ	専攻ソルフェージュⅠ	2	1		2			2
	専攻ソルフェージュⅡ	2				2		
声 楽	◎独唱法Ⅰ	2	1		2			1
	独唱法Ⅱ	2			2	2		
	◎合唱法	2	1		2			2
	合唱演習	2				2	2	
器 楽	ピアノ奏法Ⅰ	2	1		2			1
	ピアノ奏法Ⅱ	2				2		
	管弦器奏法	4				2		
	弦楽器奏法	4				2		
	打楽器奏法	2				2		
	和楽器奏法	1			1			1
	◎合奏法	2	1		2			2

	合奏演習	2					2		
指 揮 法	◎指揮法	2	1		2			2	
音楽理論・作曲法及び音楽史	◎音楽理論	1	1		1			1	
	和声学	2					2		
	対位法	2					2		
	◎作曲法	1	1		1			1	
	◎D T M概論	2					2		
	D T M編曲法	2					2		
	D T M作曲法	2					2		
	◎音楽史概説	2	2		2			2	
	西洋音楽史	2					2		
	日本音楽史	2					2		
民族音楽史	2					2			
音楽科教育	音楽科教育ゼミナール	4					4		
	音楽科特別講義	14					8		
計		71	10	6	17	4	13	15	
			16		34				
特 別 研 究		必修6単位							

備考1 ◎印は、小学校の教科に関する科目を兼ねる。  
 2 教科又は教職（教科分）の単位の取扱い  
 [小] 6単位：専攻科目16単位に含まれている。  
 [中] 4単位：専攻科目34単位に含まれている。

②美術教育

専門科目 区分等	授業科目	開設 単位	美術教育専攻					障害児教育専攻	
			[小]		[中]			[中]	
			必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修
絵 画	絵画論	4		2	2	4	2	2	2
	素描	8		2	2		2	2	
	素描演習 (映像メディア表現を含む。)	1		1	1			1	
	◎絵画	8	2	2	2		2	2	
	絵画演習	2		1	1	1	1	2	
	版画	2		2	2	2	2		
	絵画技法演習	4		1			1		
	野外風景画実習	2		2			2		
彫 刻	造形の基礎 I	1		1			1		
	彫刻論	4		2	2	4	2	2	2
	◎彫刻 I	8	2	2	2		2	2	
	彫刻 II	8		2	2		2	2	
	彫刻技法演習	3		1	2		1	2	
	彫刻屋外実習	2		2			2		
造形の基礎 II	1		1			1			
	デザイン論	4		2	2	4	2	2	2
	◎デザイン I	4	2		2		2	2	

デザイン	デザインⅠ	4		2	2	2	2		
	デザインⅡ	4		2	2	2	2		
	デザイン技法演習	4		1		2			
	図法及び製図	2		1		2			
	総合デザイン実習	4		1		1			
	造形の基礎Ⅲ	1		1		1			
工 芸	工芸論	4		2	2	2	2		
	◎工芸Ⅰ	4	2		2	2	2		
	工芸Ⅱ	4		1	1	1	1		
	工芸Ⅲ	4		1	1	1	1		
	工芸演習	2		1	1	1	1		
	工芸技法演習	3		2	2	2	2		
	造形の基礎Ⅳ	1		1		1			
美術理論及び美術史	美術理論Ⅰ	2		2	2		2		
	美術理論Ⅱ	2		2		2			
	美術理論・美術史演習	4		1		1			
	基本美術史	2		2	2		2		
	◎美術史	10	2			2			
	美術史実習	2		1		1			
	造形の基礎Ⅴ	1		1		1			
美術科教育	美術科教育論	4		2		2			
	美術科教育各論	4		2		2			
	美術科教育演習	4		1		1			
	美術教材実習	4		1		1			
	子どもと造形	4		1		1			
	美術科教育基礎	1		1		1			
特設科目									
計		152	10	6	5	16	13	5	8
特別研究			16		34		13		
			必修 6 単 位						

備考1 ◎印は、小学校の教科に関する科目を兼ねる。

2 教科又は教職（教科分）の単位の取扱い

〔小〕 6 単位：専攻科目16単位に含まれている。

〔中〕 4 単位：専攻科目34単位に含まれている。

### 3 情報教育課程

#### ①教育情報システム専攻

専門科目 区分等	授業科目	開設 単位	教育情報システム専攻	
			必修	選択
課程共通	テクニカルコミュニケーション	2	2	
	○インターフェースデザイン概論	2	2	
情報処理・情報科学	○計算機概論	2	2	
	○情報処理Ⅰ	2	2	
	○情報処理演習Ⅰ	2	2	
	○情報処理Ⅱ	2	2	
	○情報処理演習Ⅱ	2	2	

	○情報科学概論	2	2	
	○知識工学	2		2
	○情報通信ネットワーク管理	2		2
	○情報通信ネットワーク演習	2		2
数 理 科 学	微分・積分学	2		2
	線形代数学	2		2
	確率・統計学	2	2	
	○情報数学	2		2
	○計算科学	2		2
教育情報科学	○情報社会論	2		2
	視覚メディア論	2		2
	○授業システム論	2		2
	教育統計	2		2
	○教育情報システム設計	2		2
	教育情報システム特別講義	2		2
	教材デザイン論	2		2
	インターフェースデザイン演習	2		2
	デザイン概論	2		2
	○情報教育論	2	2	
	情報教育特別講義	2		2
	○マルチメディア著作権法	2		2
	○音響メディア概論	2		2
人 間 科 学	認知科学概論	2	2	
	認知科学演習	2		2
	○生体情報システム論	2		2
	生体情報システム特別講義	2		2
	精神医学概論	2		2
情報と職業	○情報と職業	2		2
ゼミナール	情報教育基礎ゼミナール	8		8
	情報教育ゼミナール	8		8
特 設 科 目				
	計	86	22	30
	特 別 研 究			必修6単位

備考 ○印の授業科目は、高等学校教諭1種免許状（情報）を取得するための「教科に関する科目」であることを示す。

## ②マルチメディア芸術専攻

専 門 科 目 区 分 等	授 業 科 目	開設 単位	マルチメディア芸術専攻		
			必 修	選 択 必 修	選 択
課 程 共 通	テクニカルコミュニケーション	2			
	○インターフェースデザイン概論	2	2		
情 報 技 術	認知科学概論	2	2		
	○計算機概論	2			2
	○情報処理 I	2	2		
	○情報処理演習 I	2	2		
	○情報社会論	2			2

	芸術情報処理	2			2
	○教育情報システム設計	2			2
	○マルチメディア著作権法	2	2		
芸術理論	芸術史	4			4
	視覚メディア史	2	2		
	芸術論（音楽・美術）	8			8
	メディアデータ編集法	2	2		
	○マルチメディア表現論Ⅰ	2			2
	○マルチメディア表現論Ⅱ	2			2
視覚表現	デザイン概論	2	2		
	造形表現演習	8			8
	色彩理論／演習	2		2	
	インターフェースデザイン演習	2			2
	環境情報デザイン	2			2
	視覚メディア基本演習	2	2		
	○マルチメディア表現演習	2			2
	視覚伝達論	4			4
	メディア芸術（自由・芸術）	4			4
	音響表現	音楽表現演習	4		
○音響メディア概論		2	2		
音響メディア基本演習		2			2
音響デザイン論		2			2
○コンピュータ音楽概論		2		2	
コンピュータ音楽編曲法		2			2
コンピュータ音楽創作		2			2
情報と職業	○情報と職業	2			2
ゼミナール	マルチメディア基本演習	4			4
	マルチメディア制作総合演習	4			4
特設科目					
計		94	22	2	28
特別研究		必修6単位			

備考 ○印の授業科目は、高等学校教諭1種免許状（情報）を取得するための「教科に関する科目」であることを示す。

別表Ⅶを次のように改める。(別添)

別表Ⅶ 取得できる免許状の種類

課 程	免許状の種類	
	学校教育教員 養成課程	小学校教諭1種免許状
中学校教諭1種免許状の教科		高等学校教諭1種免許状の教科
国語 社会 学 科 数 理 音 楽 美 術 保 健 体 育 技 術 家 英		国語 地 理 歴 史 民 学 科 数 理 音 楽 美 術 道 徳 保 健 体 育 庭 語 英
幼稚園教諭1種免許状		
養護学校教諭1種免許状		
情報教育課程	高等学校教諭1種免許状(情報)	

備考 教育職員免許法施行規則に定める所定の単位を修得したときは、複数の免許状をあわせて取得することができる。

附 則

- この規則は、平成13年 4 月 1 日から施行する。
- 改正後の別表Ⅰ、Ⅳ、Ⅵ及びⅦについては、平成11年度入学者から適用し、平成10年度以前の入学者については、なお従前の例による。

### 富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の改正理由

専門科目のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年 3 月16日

富山大学長 時 澤 頁

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則(平成 5 年 4 月 1 日全部改正)の一部を次のように改正する。

別表Ⅰ(第 4 条関係)卒業に必要な修得単位数の表中

専 門 科 目	専門基礎科目から修得する単位	30以上	14以上	8以上	84以上	を
	専攻科目から修得する単位数	54以上	70以上	76以上		
	小 計	84以上				

専 門 科 目	専門基礎科目から修得する単位	38以上	14以上	8以上	84以上	に改める。
	専攻科目から修得する単位数	46以上	70以上	76以上		
	小 計	84以上				

別表Ⅱ(第 6 条関係)中電気電子システム工学科、機械知能システム工学科及び物質生命システム工学科の表を次のように改める。

別表Ⅱ (第6条関係)

## 電気電子システム工学科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自 選			必 修	選 必	選 択	自 選
専 門 基 礎 科 目	微分積分1			2		法規及び管理			1		
	微分積分2			2		電磁波工学1			2		
	線形代数			2		電磁波工学2			2		
	微分方程式1			2		信号処理工学			2		
	微分方程式2			2		通信方式			2		
	ベクトル解析			2		通信システム			2		
	複素解析			2		電波法規			1		
	計算機工学			2		計算電磁工学			2		
	数値解析			2		電気電子計測工学			2		
	プログラミング1			2		センサ工学			2		
	プログラミング2			2		システム制御工学1			2		
	力学			2		システム制御工学2			2		
	熱・波動			2		電気電子材料工学			2		
	化学			2		結晶物理工学			2		
	量子力学			2		電子物性工学1			2		
	電磁気学1			2		電子物性工学2			3		
	電磁気学演習1			1		量子効果デバイス			2		
	電磁気学2			2		量子光学			2		
	電磁気学演習2			1		表面エレクトロニクス			2		
	電気回路1A			2		半導体デバイス1			3		
	電気回路1B			2		半導体デバイス2			2		
	電気回路演習1			1		集積回路工学			2		
電気回路2			2		光・電子デバイス			2			
電気回路演習2			1		ナノエレクトロニクス			2			
アナログ電子回路1			2		安全・開発管理工学	2					
アナログ電子回路2			2		数学基礎演習	1					
アナログ電子回路演習			1		自由課題製作実験	1					
デジタル電子回路			2		電気電子工学実験1	2					
専 攻 科 目	電力発生工学			3		電気電子工学実験2	2				
	電気エネルギー伝送工学1			2		電気電子工学実験3	2				
	電気エネルギー伝送工学2			2		電気電子工学実験4	2				
	高電圧学			2		電気電子工学論文講読	1				
	パワーエレクトロニクス			2		卒業論文	10				
	電気機器工学1			2		工業英語			2		
	電気機器工学2			2							
	電動応用工学			2		電気電子システム工学特論					
	電気電子工学設計製図			2		職業指導					4
	プラズマ理工学			2		情報化社会と教育					2

## 備 考

- 電気電子システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - 教養科目・共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - 専門科目  
専門基礎科目は51単位中38単位以上、専攻科目は必修科目23単位を含め46単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。



機械システム工学科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自 選 由 択			必 修	選 必	選 択	自 選 由 択
専 門 基 礎 科 目	微分積分第1			2	A	専 攻 科 目	動的設計解析学			2	J
	微分積分第2			2			機構学			2	
	線形代数第1			2			機械力学			2	
	線形代数第2			2			機械動的解析演習	1			
	微分方程式			2			制御工学第1			2	
	工業力学	2			制御工学第2				2	K	
	電磁気学			2	メカトロニクス				2		
	量子力学			2	制御工学演習		1				
	化学			2							
	専 攻 科 目	材料力学第1			2		C	応用情報工学			2
材料力学第2				2	計測工学				2		
固体力学				2	精密測定学				2		
材料強度演習第1		1			計測工学・精密測定学演習	1					
強度設計工学				2	基礎情報工学				2	M	
要素設計学第1				2	機械情報理論			2			
要素設計学第2				2	シミュレーション工学			2			
材料強度演習第2		1			ソフトウェア工学演習	1					
生産加工学				2	環境工学概論			2			
専 攻 科 目		切削加工学			2	E	熱エネルギー変換			2	共 通
	精密加工学			2	バイオメカトロニクス				2		
	生産加工学演習	1			技術史				2		
	基礎材料工学			2	英語コミュニケーション				2		
	機械材料工学			2	工業英語				2		
	塑性工学			2	工業ドイツ語			2			
	塑性・材料工学演習	1			機械安全工学			2			
	基礎熱力学			2	機械工学自由演習			1			
	応用熱力学			2	機械入門ゼミナール			1			
	伝熱工学			2	機械知能システム工学特論			2			
専 攻 科 目	熱工学演習	1			G	機械工学輪読	2			共 通	
	基礎流体工学			2		機械工業設計製図第1	2				
	流体機械			2		機械工業設計製図第2	2				
	流体力学			2		機械工学実習	2				
	流体工学演習	1				機械工学実験	4				
	数理解析学第1			2	H	卒業論文	10				
	数理解析学第2			2		職業指導			4		
	環境数値解析工学			2		情報化社会と教育			2		
	数理解析学演習	1									

備 考

- 1 機械システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 2 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - (1) 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - (2) 専門科目  
専門基礎科目は18単位中必修2単位を含め8単位以上、専攻科目は必修科目32単位を含め76単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 3 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含めない。

## 物質生命システム工学科

授 業 科 目 名		単 位 数				授 業 科 目 名		単 位 数			
		必 修	選 必	選 択	自 選			必 修	選 必	選 択	自 選
専 門 基 礎 科 目	微分積分1			2		専 攻 科 目	生命物性工学1			2	
	微分積分2			2			生命物性工学2			2	
	線形代数1			2			細胞工学序論			2	
	線形代数2			2			生物物理化学			2	
	応用数学1			2			蛋白質工学			2	
	応用数学2			2			基礎生理学			2	
	応用数学3			2			生命物性工学演習			2	
	物理学1			2			生化学1			2	
	物理学2			2			生化学2			2	
	物理学3			2			生化学3			2	
	無機化学1			2			遺伝子工学1			2	
	無機化学2			2			遺伝子工学2			2	
	基礎有機化学1			2			細胞工学			2	
	基礎有機化学2			2			生命情報工学			2	
	分析化学			2			生命計測工学			2	
	物理化学1			2			生命分子機能工学			2	
	物理化学2			2			マイクロメリティックス			2	
	物理化学3			2			粉体物性工学			2	
	生物学			2			粉体プロセス工学1			2	
	物質・生命システム工学ゼミナール			2			粉体プロセス工学2			2	
	物理学実験			1			プロセス工学量論			2	
化学実験			1		移動現象論1			2			
専 攻 科 目	資源化学			2		移動現象論2			2		
	無機化学3			2		多相系移動現象論			2		
	生物有機化学			2		反応工学1			2		
	有機化学1			2		反応工学2			2		
	有機化学2			2		生物化学工学			2		
	有機化学演習			2		生物反応工学			2		
	構造有機化学			2		拡散操作論			2		
	有機合成化学			2		物質移動論			2		
	反応速度論			2		分離工学			2		
	電気化学			2		拡散プロセス工学			2		
	無機化学演習			2		プロセス設計1			2		
	錯体化学			2		プロセス設計2			2		
	量子化学			2		化学プロセス制御			2		
	物理有機化学			2		プラント設計工学			2		
	機器分析化学1			2		プロセス工学計算1			1		
	機器分析化学2			2		プロセス工学計算2			2		
	機器分析化学演習			2		材料製錬工学			2		
	環境化学			2		材料精錬工学			2		
	高分子化学			2		金属化学			2		
	生体高分子化学			2		腐食・防食工学			2		
	高分子物理化学			2		機能材料工学1			2		
物理化学演習			2		機能材料工学2			2			
細胞生産工学1			2		高温反応工学			2			
細胞生産工学			2		材料評価学			2			

## 備 考

- 1 物質生命システム工学特論の単位数は必要に応じて定める。
- 2 卒業に必要な修得単位数は、次の条件を満たし124単位以上であること。
  - (1) 教養科目、共通基礎科目  
富山大学における教養科目及び共通基礎科目履修規則に定める選択科目30単位以上
  - (2) 専門科目  
専門基礎科目及び専攻科目は必修科目10単位を含め84単位以上、合計84単位以上  
84単位の内訳は、学科の定めるところによる。
- 3 職業指導の単位は、卒業に必要な修得単位数には含まない。

## 附 則

- 1 この規則は、平成13年 4月 1日から施行する。
- 2 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例 による。

## 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正

## 富山大学大学院教育学研究科規則の改正理由

- 1 平成13年度に大学院教育学研究科（修士課程）教科教育専攻が整備（社会科教育専修及び英語教育専修の設置）されることに伴い、所要事項を改める。
- 2 授業科目を増設し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年 3月31日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学大学院教育学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院教育学研究科規則（平成 6年 3月31日制定）の一部を次のように改正する。

第2条中「国語教育専修  
数学教育専修  
理科教育専修  
音楽教育専修  
美術教育専修  
保健体育専修  
技術教育専修  
家政教育専修」  
を「国語教育専修  
社会科教育専修  
数学教育専修  
理科教育専修  
音楽教育専修  
美術教育専修  
保健体育専修  
技術教育専修  
家政教育専修  
英語教育専修」  
に改める。

別表第1(第3条関係)を次のように改める。

別表第1(第3条関係)

(1) 学校教育専攻

学校教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
教 育 学 ( 教 育 学 史 )	教育哲学特論		2	①学校教育専攻科目 4単位必修 10単位選択
	教育哲学特論演習		2	
	教育史特論		2	
	教育史特論演習		2	
教 育 心 理 学	教育心理学特論		2	②教科教育専攻科目 6単位選択 ただし、養護学校教諭 専修免許状取得者は、 特殊教育に関する科目 から履修することがで きる。
	生徒指導特論演習		2	
	学習心理学特論		2	
	心理検査法特論演習		2	
発 達 心 理 学	発達心理学特論		2	③課題研究
	発達心理学特論演習		2	
	発達臨床心理学特論		2	
	学校カウンセリング特論演習		2	
学 校 経 営	学校経営特論		2	4単位必修
	学校経営特論演習		2	
教 育 社 会 学	教育社会学特論		2	④自由選択科目 6単位選択
	教育社会学特論演習		2	
教 育 内 容 ・ 方 法 論	教育課程特論		2	⑤修士論文 必修
	教育課程特論演習		2	
	教育方法学特論Ⅰ		2	
	教育方法学特論演習Ⅰ		2	
	教育方法学特論Ⅱ		2	
	教育方法学特論演習Ⅱ		2	
	教育工学特論		2	
	教育工学特論演習		2	
道 徳 教 育	道徳教育特論		2	
特殊教育に関する教育	障害児教育学特論		2	
	障害児指導法特論		2	
	障害児指導法特論演習		2	
	行動障害学特論		2	
	行動障害学特論演習		2	
	重度・重複障害学特論		2	
特殊教育に関する心理	障害児心理研究法特論		2	
	障害児生理心理学特論		2	
	障害児生理心理学特論演習		2	
	障害児心理診断法特論		2	
	障害児認知心理学特論		2	
特殊教育に関する生理	障害児病理学特論		2	
幼 児 教 育	幼児教育学特論		2	
	幼児教育学特論演習		2	

幼 児 心 理	幼児心理学特論		2	
	幼児心理学特論演習		2	
	幼児教育相談特論		2	
	幼児教育相談特論演習		2	
保 育 内 容 の 研 究	保育内容の研究特論		2	
	保育内容の研究特論演習		2	
	教育実践研究Ⅰ		2	
	教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

## (2) 教科教育専攻

## ①国語教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ (教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ (教育心理学系)	2		
国 語 科 教 育	国語科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	国語科教育特論Ⅰ		2	
	国語科教育特論演習Ⅰ		2	
	国語科教育特論Ⅱ		2	
国 語 学	国語学特論Ⅰ		2	③課題研究 2単位必修 10単位選択 ④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	国語学特論演習Ⅱ		2	
	国語学特論Ⅱ		2	
	国語学特論演習Ⅱ		2	
国 文 学	国文学特論Ⅰ		2	⑤修士論文 必修
	国文学特論演習Ⅰ		2	
	国文学特論Ⅱ		2	
	国文学特論演習Ⅱ		2	
書 写	書写教育特論		2	
	書写教育特論演習		2	
漢 文 学	漢文学特論		2	
	漢文学特論演習		2	
	国語教育実践研究Ⅰ		2	
	国語教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

## ②社会科教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ (教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ (教育心理学系)	2		
社 会 科 教 育	社会科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修
	社会科教育特論Ⅰ		2	
	社会科教育特論演習Ⅰ		2	

	社会科教育特論Ⅱ 社会科教育特論演習Ⅱ		2 2	4単位選択 ②教科教育専攻科目
歴 史 学	歴史学特論Ⅰ 歴史学特論演習Ⅰ 歴史学特論Ⅱ 歴史学特論演習Ⅱ		2 2 2 2	2単位必修 10単位選択 ③課題研究 4単位必修
地 理 学	地理学特論Ⅰ 地理学特論演習Ⅰ 地理学特論Ⅱ 地理学特論演習Ⅱ		2 2 2 2	④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
政 治 学	政治学特論 政治学特論演習		2 2	
法 律 学	法律学特論 法律学特論演習		2 2	
社 会 学	社会学特論Ⅰ 社会学特論演習Ⅰ 社会学特論Ⅱ 社会学特論演習Ⅱ		2 2 2 2	
経 済 学	経済学特論Ⅰ 経済学特論演習Ⅰ 経済学特論Ⅱ 経済学特論演習Ⅱ		2 2 2 2	
	課題研究	4		

③数学教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ (教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ (教育心理学系)	2		
数 学 科 教 育	数学科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	数学科教育特論Ⅰ		2	
	数学科教育特論演習Ⅰ		2	
	数学科教育特論Ⅱ		2	
	数学科教育特論演習Ⅱ		2	
代 数 学	代数学特論Ⅰ		2	2単位必修 10単位選択 ③課題研究 4単位必修
	代数学特論演習Ⅰ		2	
	代数学特論Ⅱ		2	
	代数学特論演習Ⅱ		2	
幾 何 学	幾何学特論Ⅰ		2	④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	幾何学特論演習Ⅰ		2	
	幾何学特論Ⅱ		2	
	幾何学特論演習Ⅱ		2	
解 析 学	解析学特論Ⅰ		2	
	解析学特論演習Ⅰ		2	
	解析学特論Ⅱ		2	
	解析学特論演習Ⅱ		2	

数学教育実践研究Ⅰ		2
数学教育実践研究Ⅱ		2
課題研究	4	

## ④理科教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
理科教育	理科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	理科教育特論Ⅰ		2	
	理科教育特論演習Ⅰ		2	
	理科教育特論Ⅱ		2	
物理学	物理学特論Ⅰ		2	③課題研究 2単位必修 10単位選択 ④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	物理学特論演習Ⅰ		2	
	物理学特論Ⅱ		2	
	物理学特論演習Ⅱ		2	
	物理学特論Ⅲ		2	
	物理学特論演習Ⅲ		2	
化学	化学特論Ⅰ		2	
	化学特論演習Ⅰ		2	
	化学特論Ⅱ		2	
	化学特論演習Ⅱ		2	
	化学特論Ⅲ		2	
生物学	生物学特論Ⅰ		2	
	生物学特論演習Ⅰ		2	
	生物学特論Ⅱ		2	
	生物学特論演習Ⅱ		2	
	生物学特論Ⅲ		2	
地学	地学特論Ⅰ		2	
	地学特論演習Ⅰ		2	
	地学特論Ⅱ		2	
	地学特論演習Ⅱ		2	
	地学特論Ⅲ		2	
	地学特論演習Ⅲ		2	
	課題研究	4		

## ⑤音楽教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
	音楽科教育研究	2		

音 楽 科 教 育	音楽科教育特論Ⅰ		2	①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択
	音楽科教育特論演習Ⅰ		2	
	音楽科教育特論Ⅱ		2	
	音楽科教育特論演習Ⅱ		2	
声 楽	声乐特論		2	②教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択
	声乐特論演習		2	
器 楽	器楽特論		2	③課題研究 4単位必修
	器楽特論演習Ⅰ		2	
	器楽特論演習Ⅱ		2	
作 曲 ・ 指 揮 法	作曲法特論		2	④自由選択科目 6単位選択
	作曲法特論演習		2	
音 楽 学	音楽学特論		2	⑤修士論文 必修
	音楽学特論演習		2	
	音楽教育実践研究Ⅰ		2	
	音楽教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

## ⑥美術科教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
美 術 科 教 育	美術科教育研究	2	2	①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	美術科教育特論Ⅰ		2	
	美術科教育特論演習Ⅰ		2	
	美術科教育特論Ⅱ		2	
	美術科教育特論演習Ⅱ		2	
絵 画	絵画特論		2	2単位必修 10単位選択 ③課題研究
	絵画特論演習Ⅰ		2	
	絵画特論演習Ⅱ		2	
彫 刻	彫刻特論		2	4単位必修 ④自由選択科目 6単位選択
	彫刻特論演習Ⅰ		2	
	彫刻特論演習Ⅱ		2	
デ ザ イ ン	デザイン特論		2	⑤修士論文 必修
	デザイン特論演習		2	
工 芸	工芸特論		2	
	工芸特論演習		2	
美 術 理 論 ・ 美 術 史	美術理論・美術史特論		2	
	美術理論・美術史特論演習		2	
	美術教育実践研究Ⅰ		2	
	美術教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		



## ⑦保健体育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
保健体育科教育	保健体育科教育研究	2		①学校教育専攻科 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択
	保健体育科教育特論Ⅰ		2	
	保健体育科教育特論演習Ⅰ		2	
	保健体育科教育特論Ⅱ		2	
	保健体育科教育特論演習Ⅱ		2	
	保健体育科教育特論Ⅲ		2	
体育学	保健体育科教育特論演習Ⅲ		2	③課題研究 4単位必修 ④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	体育学特論Ⅰ		2	
	体育学特論演習Ⅰ		2	
	体育学特論Ⅱ		2	
	体育学特論演習Ⅱ		2	
	体育学特論Ⅲ		2	
	体育学特論演習Ⅲ		2	
	体育学特論Ⅳ		2	
運動学	体育学特論演習Ⅳ		2	
	運動学特論Ⅰ		2	
	運動学特論演習Ⅰ		2	
	運動学特論Ⅱ		2	
	運動学特論演習Ⅱ		2	
	運動学特論Ⅲ		2	
	運動学特論演習Ⅲ		2	
	運動学特論Ⅳ		2	
学校保健	運動学特論演習Ⅳ		2	
	学校保健学特論Ⅰ		2	
	学校保健学特論演習Ⅰ		2	
	学校保健学特論Ⅱ		2	
	学校保健学特論演習Ⅱ		2	
	保健体育教育実践研究Ⅰ		2	
	保健体育教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

## ⑧技術教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
(共通)	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
技術科教育	技術科教育研究	2		①学校教育専攻科目 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	技術科教育特論Ⅰ		2	
	技術科教育特論演習Ⅰ		2	
	技術科教育特論Ⅱ		2	
	技術科教育特論演習Ⅱ		2	

	情報技術学特論Ⅰ		2	2単位必修 10単位選択 ③課題研究 4単位必修
	情報技術学特論演習Ⅰ		2	
	情報技術学特論Ⅱ		2	
	情報技術学特論演習Ⅱ		2	
電 気	電気技術学特論Ⅰ		2	④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	電気技術学特論演習Ⅰ		2	
	電気技術学特論Ⅱ		2	
	電気技術学特論演習Ⅱ		2	
機 械	機械技術学特論Ⅰ		2	
	機械技術学特論演習Ⅰ		2	
	機械技術学特論Ⅱ		2	
	機械技術学特論演習Ⅱ		2	
	技術教育実践研究Ⅰ		2	
	技術教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

⑨家政教育専修

分 野	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ (教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ (教育心理学系)	2		
家 庭 科 教 育	家庭科教育研究	2		①学校教育専攻科 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目
	家庭科教育特論Ⅰ		2	
	家庭科教育特論演習Ⅰ		2	
	家庭科教育特論Ⅱ		2	
食 物 学	食物学特論		2	2単位必修 10単位選択
	食物学特論演習		2	
被 服 学	被服学特論Ⅰ		2	③課題研究 4単位必修 ④自由選択科目 6単位選択
	被服学特論演習Ⅰ		2	
	被服学特論Ⅱ		2	
	被服学特論演習Ⅱ		2	
住 居 学	住居学特論		2	⑤修士論文 必修
	住居学特論演習		2	
保 育 学	保育学特論		2	
	保育学特論演習		2	
家 政 一 般	家庭経営特論Ⅰ		2	
	家庭経営特論演習Ⅰ		2	
	家庭経営特論Ⅱ		2	
	家庭経営特論演習Ⅱ		2	
	家庭教育実践研究Ⅰ		2	
	家庭教育実践研究Ⅱ		2	
	課題研究	4		

## ⑩英語教育専修

分野	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
( 共 通 )	学校教育研究Ⅰ(教育学系)	2		修得単位数 30単位以上
	学校教育研究Ⅱ(教育心理学系)	2		
英 語 科 教 育	英語科教育研究	2		①学校教育専攻科 4単位必修 4単位選択 ②教科教育専攻科目 2単位必修 10単位選択
	英語科教育特論Ⅰ		2	
	英語科教育特論演習Ⅰ		2	
	英語科教育特論Ⅱ		2	
	英語科教育特論演習Ⅱ		2	
英 語 学	英語学特論Ⅰ		2	③課題研究 4単位必修 ④自由選択科目 6単位選択 ⑤修士論文 必修
	英語学特論演習Ⅰ		2	
	英語学特論Ⅱ		2	
	英語学特論演習Ⅱ		2	
英 米 文 学	英米文学特論Ⅰ		2	
	英米文学特論演習Ⅰ		2	
	英米文学特論Ⅱ		2	
	英米文学特論演習Ⅱ		2	
	英米文学特論Ⅲ		2	
	英米文学特論演習Ⅲ		2	
課題研究		4		

## 附 則

- この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 富山大学大学院理工学研究科規則の一部改正

## 富山大学大学院理工学研究科規則の改正理由

- 地球科学専攻のカリキュラムを見直し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。
- 理工学研究科博士前期課程が改組されることに伴い、所要事項を改める。

富山大学大学院理工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年3月31日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学大学院理工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院理工学研究科規則(平成10年3月27日制定)の一部を次のように改正する。

別表第1(博士前期課程)を次のように改める。

別表第1 (博士前期課程)

専攻	授業科目	単位数	備考
数 学 専 攻	代数学特論Ⅰ	2	○印は必修 科目
	代数学特論Ⅱ	2	
	幾何学特論Ⅰ	2	
	幾何学特論Ⅱ	2	
	多様体特論Ⅰ	2	
	多様体特論Ⅱ	2	
	関数解析学特論Ⅰ	2	
	関数解析学特論Ⅱ	2	
	複素解析学特論Ⅰ	2	
	複素解析学特論Ⅱ	2	
	実解析学特論Ⅰ	2	
	実解析学特論Ⅱ	2	
	確率過程特論Ⅰ	2	
	確率過程特論Ⅱ	2	
	確率現象特論Ⅰ	2	
	確率現象特論Ⅱ	2	
	関数方程式特論Ⅰ	2	
	関数方程式特論Ⅱ	2	
	応用数理特論Ⅰ	2	
	応用数理特論Ⅱ	2	
	数理現象特論Ⅰ	2	
	数理現象特論Ⅱ	2	
	情報数学特論Ⅰ	2	
	情報数学特論Ⅱ	2	
	情報システム特論Ⅰ	2	
	情報システム特論Ⅱ	2	
	○数学特論	2	
	数理科学特論Ⅰ	1	
数理科学特論Ⅱ	1		
○ゼミナール	4		
○数学特別研究	16		
物 理 学 専 攻	凝縮系物理学Ⅰ	2	
	凝縮系物理学Ⅱ	2	
	磁性物理学	2	
	低温物理学	2	
	素粒子物理学Ⅰ	2	
	素粒子物理学Ⅱ	2	
	場の量子論Ⅰ	2	
	場の量子論Ⅱ	2	
	回折物理学	2	
	結晶物理学Ⅰ	2	

	結晶物理学Ⅱ	2
	電波物理学	2
	電波分光Ⅰ	2
	電波分光Ⅱ	2
	量子エレクトロニクスⅠ	2
	量子エレクトロニクスⅡ	2
	レーザー分光	2
	○現代物理学特論	2
	物理学特別講義Ⅰ	1
	物理学特別講義Ⅱ	1
	○物理学特別実験	2
	○ゼミナール	4
	○物理学特別研究	14
化 学 専 攻	化学反応論	2
	触媒化学	2
	表面化学	2
	物質化学	2
	構造化学	2
	量子化学	2
	溶液化学特論	2
	生体無機化学	2
	有機機能化学	2
	有機構造論	2
	有機合成化学	2
	天然物化学	2
	有機金属化学	2
	固体物理化学	2
	放射線化学特論	2
	機能性材料学	2
	エネルギー変換特論	2
	同位体化学	2
	リサイクル化学特論	2
	○最先端化学特論	2
	反応物性特別講義	1
	合成有機特別講義	1
	水素エネルギー特別講義	1
	○化学特別実験	2
	○ゼミナール	4
	○化学特別研究	14
生 物 学 専 攻	植物系統分類学特論	2
	動物系統分類学特論	2
	細胞生物学特論	2
	細胞分化学特論	2

	遺伝学特論	2
	形態形成学特論	2
	動物生理学特論	2
	比較内分泌学特論	2
	内分泌細胞学特論	2
	生体制御学特論	2
	生体機能調節学特論	2
	○生物学特論	2
	生物学特別講義 I	1
	生物学特別講義 II	1
	○生物学特別実験	2
	○ゼミナール	4
	○生物学特別研究	14
地球科学専攻	地球磁気学	2
	固体地球物理学	2
	地球構造学特論	2
	地震学特論	2
	地球物性論	2
	物理探査学	2
	気候力学特論	2
	地球圏物理学特論	2
	雪水学特論	4
	積雪物理学	4
	雪水環境論	4
	層序学	2
	火山地質学	2
	第四紀地質学	2
	岩石学特論 I	2
	岩石学特論 II	2
	岩石変形論	2
	構造地質学	2
	地球変動論	2
	鉱床学特論	2
	地球進化学	2
	地質学特論	2
	地質学巡検 I	3
	地質学巡検 II	1
	○地球科学特論	2
	地球科学特別講義 I	2
	地球科学特別講義 II	2
	○地球科学特別実験	2
	○ゼミナール	4
	○地球科学特別研究	14

生物圏環境 科学専攻	○環境化学特論	2
	環境化学計測論	2
	環境微量成分分析特論	2
	環境無機反応論	2
	環境水質特論	2
	地球化学特論	2
	水圏化学特論	2
	環境同位体特論	2
	環境物質循環特論	2
	○環境生物特論	2
	生体物質循環特論	2
	生体応答特論	2
	環境動物生理学特論	2
	生物物理学特論	2
	植物生態学特論	2
	植生立地学特論	2
	光生物学特論	2
	環境植物生理学特論	2
	生物圏環境科学特別講義Ⅰ	1
	生物圏環境科学特別講義Ⅱ	1
	○生物圏環境科学特別実験	2
	○ゼミナール4	
	○生物圏環境科学特別研究	14
電気電子システム 工学専攻	電力工学特論第1	2
	電力工学特論第2	2
	エネルギー変換工学特論第1	2
	エネルギー変換工学特論第2	2
	プラズマ物理学特論第1	2
	プラズマ物理学特論第2	2
	通信伝送工学特論第1	2
	通信伝送工学特論第2	2
	通信システム特論第1	2
	通信システム特論第2	2
	生体システム特論第1	2
	生体システム特論第2	2
	計測システム特論第1	2
	計測システム特論第2	2
	電子物性工学特論第1	2
	電子物性工学特論第2	2
	電子デバイス工学特論第1	2
	電子デバイス工学特論第2	2
	基礎物性工学特論第1	2
	基礎物性工学特論第2	2

	表面エレクトロニクス特論第1	2
	表面エレクトロニクス特論第2	2
	電気電子システム工学特別講義	4以下
	○電気電子システム工学特別演習	2
	○電気電子システム工学特別研究	10
知 能 情 報 工 学 専 攻	システム工学特論第1	2
	システム工学特論第2	2
	パターン情報処理特論第1	2
	パターン情報処理特論第2	2
	知識情報処理特論第1	2
	知識情報処理特論第2	2
	アルゴリズム解析特論	2
	知識システム特論	2
	視覚情報処理特論第1	2
	視覚情報処理特論第2	2
	神経情報学特論	2
	通信方式特論第1	2
	通信方式特論第2	2
	ヒューマン情報処理特論第1	2
	ヒューマン情報処理特論第2	2
	符号化情報学特論第1	2
	符号化情報学特論第2	2
	知識情報工学特別講義	4以下
	○知識情報工学特別演習	2
	○知識情報工学特別研究	10
機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 専 攻	弾性力学特論	2
	塑性力学特論	2
	強度設計工学特論	2
	要素設計工学特論	2
	微細加工工学特論	2
	切削加工工学特論	2
	機械材料学特論	2
	塑性加工工学特論	2
	工業熱力学特論	2
	伝熱工学特論	2
	流体工学特論	2
	流体力学特論	2
	環境数理解析特論	2
	離散数学特論	2
	カオス工学特論	2
	機械システム動力学特論	2
	機械システム構成学特論	2
	制御工学特論	2



	制御機器特論	2
	計測システム特論	2
	精密測定システム特論	2
	画像計測システム特論	2
	計算力学特論	2
	数値熱流体工学特論	2
	機械知能システム工学特別講義	4 以下
	○機械知能システム工学特別演習	2
	○機械知能システム工学特別研究	2
物質生命システム 工 学 専 攻	有機反応化学特論	2
	有機合成化学特論	2
	ヘテロ原子有機反応特論	2
	資源エネルギー特論	2
	有機工業化学特論	2
	無機工業化学特論	2
	錯体反応化学特論	2
	分析化学特論	2
	生体高分子界面化学特論	2
	コロイド科学特論	2
	生物有機化学特論	2
	機能分子化学特論	2
	生命分子生産工学特論	2
	遺伝子工学特論	2
	細胞物性工学特論	2
	バイオエレクトロニクス特論	2
	分子細胞工学特論	2
	代謝工学特論	2
	分子生物学特論	2
	粉体工学特論	2
	粉体プロセス工学特論	2
	移動現象特論	2
	多相系移動現象特論	2
	反応工学特論	2
	生物反応工学特論	2
	分離工学特論	2
	物質移動特論	2
	プロセスシステム工学特論	2
	粉粒体プロセス設計特論	2
	材料化学特論第 1	2
	材料化学特論第 2	2
	無機材料工学特論第 1	2
	無機材料工学特論第 2	2
	材料設計工学特論第 1	2

材料設計工学特論第2	2
材料強度学特論	2
材料組織制御学特論	2
磁性材料学特論	2
極低温材料物性学特論	2
物質生命システム工学特別講義	4以下
物質生命システム工学特別ゼミナール	4
○物質生命システム工学特別演習Ⅰ	2
物質生命システム工学特別演習Ⅱ	2
物質生命システム工学特別演習Ⅲ	2
○物質生命システム工学特別研究	10

## 附 則

- この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。



## 富山大学の在り方に関する検討特別委員会（4月3日）

（審議事項）

- 富山大学の在り方（将来像）について

- 富山大学五福地区構内交通規制に関する実施細目等の一部改正について

- 駐車場の有効利用について

## 自己点検評価委員会（4月9日）

（審議事項）

- 全学テーマ別評価「教育サービス面における社会貢献」の「とらえ方」「目的」「目標」について
- 平成13年度学務情報システムの運用に伴う教育改善に関することについて

## 部局長会議（4月20日）

（審議事項）

- 学生の除籍について

## 事務協議会（4月13日）

（協議事項）

- 平成12年度学位記授与式及び平成13年度入学式について
- 学長候補者選挙について

## 評議会（4月20日）

（報告事項）

- 富山大学名誉教授称号授与について
- 富山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理規則の制定について
- 平成12年度大学評価（「教育サービス面における社会貢献」）事前調査（とらえ方）の回答について
- 富山大学の中期目標・中期計画に基づく平成13年度計画について
- 富山大学の教員人事の活性化の方策について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会（4月13日）

（審議事項）

- 独立行政法人化後の組織業務の在り方について

## 入学試験実施委員会（4月24日）

（審議事項）

- 大学入試センター試験の5教科7科目について
- 平成14年度大学入試センター試験の利用について
- 「日本語留学のための新たな試験」について

## 総務委員会（4月13日）

（審議事項）

- 富山大学遺伝子解析研究倫理規則の制定について

## 学生相談連絡会議（4月26日）

（議 題）

- (1) 学生相談室要項（案）について

## 学生生活委員会（4月27日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学部学生生活委員会規則の一部改正につ

いて

- (2) 第46回（平成13年度）大学祭について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会（4月27日）

（審議事項）

- (1) 独立行政法人化後の組織業務の在り方について

## 学 内 諸 報

## 次期学長候補者に小澤 浩人文学部教授を選出



時澤 貢学長の任期が平成13年6月12日に満了することに伴い、次期学長候補者の選考が行われました。

学長候補者選挙管理委員会に学長候補者として次の3氏が推薦されましたが、その後、時澤候補者から辞退の申し出があったため、残る2氏について

4月17日に選挙を行った結果、小澤 浩人文学部教授が学長候補者となり、同日開催の評議会において次期学長候補者に決定しました。任期は、富山大学学長選考規則に基づき平成13年6月13日から4年間。

小 澤 浩（富山大学人文学部教授）

時 澤 貢（富山大学長）

山 地 啓 司（富山大学教育学部教授）

小澤教授は、昭和38年7月国際基督教大学教養学部を卒業、同46年3月東京教育大学大学院文学研究科修士課程を修了、同51年3月東京教育大学大学院文学研究科博士課程を単位取得退学後、同年4月富山医科薬科大学医

学部助教授に採用され、平成元年4月富山大学人文学部教授に昇任され、現在に至っています。

この間、平成5年5月から同7年5月まで評議員を、同年5月から同9年5月まで人文学部長を、同年5月から同11年5月まで評議員を併任され、平成11年4月から学長補佐に、同12年4月から副学長に就任されています。専門は近代日本宗教史。富山県出身。

（就任の抱負）

富山大学に相次いで起こっている不祥事は、もはや一部の人の例外的なものではなく、体質化したものの中から流れ出てきたものだと思います。あらゆる改革を口にする前に、この体質を根本から改めていかなければ、富山大学は間違いなく崩壊するでしょう。私は、その膿を出しきり、富山大学を根本から立て替え直すために、まさにそのことだけのために選ばれたのだと思っています。その限りでは、私は一切の妥協を排し、不退転の決意で、臨むつもりです。しかし、体質化したものであればこそ、全学の構成員が心をつなげて取り組まなければ、この難事業を成し遂げることはできません。そのために、まず必要なのは、構成員相互の対話です。キャンパスの中で私の姿を見かけたら、どなたでも気軽に声をかけて下さい。万事はそこから始めましょう。

## 富山大学名誉教授称号記授与式を実施

本年3月末及び4月1日をもって退官された8名の方に本学名誉教授の称号を授与することが決定され、去る4月24日（火）学長室において、時澤学長から称号記が授与されました。

新たに名誉教授となられた方は次のとおりです。

- ・中本昌年氏（元人文学部教授）
- ・新井文男氏（元教育学部教授）

- ・泉野佐一氏（元教育学部教授）
- ・相馬恒雄氏（元教育学部教授）
- ・駒城鎮一氏（元経済学部教授）
- ・高木光司郎氏（元理学部教授）
- ・葛 晋治氏（元工学部教授）
- ・宮下 尚氏（元工学部教授）



## 平成13年度新任教員説明会を実施

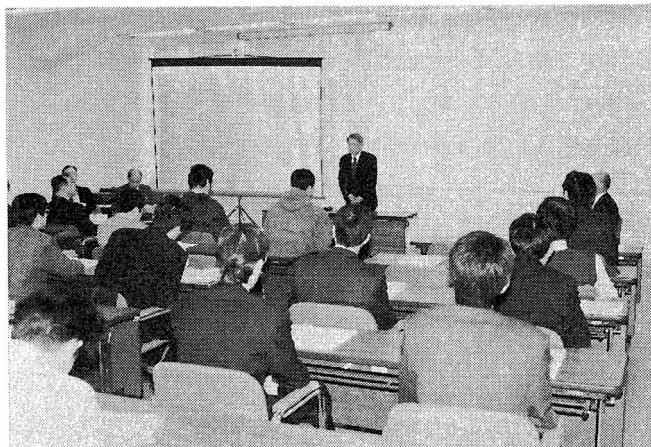
4月4日（水）、黒田講堂会議室において、平成13年度新任教員説明会が開催されました。

この説明会は、本学の新任教員を対象に国立大学を取り巻く諸情勢、本学の教育、研究、管理運営体制及び諸課題等について説明し、大学運営について理解を深めることを目的としており、本年度は昨年5月1日以降に着任された教員29人が参加しました。

午前の部では、時澤学長からの「本学の現状と課題」の説明を皮切りに、能登谷副学長の「本学の教育・厚生補導体制について」、小澤副学長の「本学の教養教育について」の説明が行われました。

午後の部は、坂田事務局長からの「大学改革等について」の説明の他、「セクシュアル・ハラスメント等の防止について」（講師；栗本 セクシュアル・ハラスメント等対応委員会委員長）、「本学の管理運営及び服務につ

いて」（講師；新田総務部長）及び「本学の予算及び会計制度について」（講師；通山経理部長）について熱心な説明が行われました。



△挨拶する時澤学長

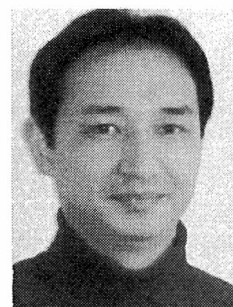
表

彰

## 山口昌樹助教授が日経BP技術賞（医療・バイオ部門）を受賞

4月6日（金）、山口昌樹工学部助教授が、採血によらず、歯肉と歯茎の間から侵出する歯肉溝液で血糖値を測定する、小型軽量の測定システムを開発した功績に対し、日経BP社の日経BP技術賞（医療・バイオ部門）を受賞されました。

山口助教授は物質生命システム工学科所属で、専門は生命工学。



## 海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	経済学部	教 授	荻 野 聡	ド イ ツ	ドイツ行政行為論の研究	13. 4. 2 } 14. 2. 2
	教育学部	教 授	諸 岡 晴 美	イ タ リ ア	イタリアのアパレル及びテキスタイルに関する感性工学的研究における資料収集	13. 4. 2 } 13. 4. 11
	人文学部	助教授	内 山 純 蔵	韓 国	動物考古学に関する研究打合せ	13. 4. 3 } 14. 2. 2
	経済学部	助教授	秋 葉 悦 子	イ タ リ ア	ヒトゲノム研究の法的・倫理的規制に関する研究	13. 4. 9 } 13. 5. 10
	教育学部	教 授	佐 藤 幸 男	コ モ ロ	研究資料収集	13. 4. 19 } 13. 4. 30
	経済学部	助教授	清 家 彰 敏	中 国	「経営戦略と組織」等の研究討議を行う	13. 4. 25 } 13. 5. 2
海外研修	経済学部	講 師	大 西 吉 之	オ ラ ン ダ	「救貧制度からみた19世紀前期オランダ階層社会の特徴とその変遷」の研究	13. 4. 1 } 13. 9. 25
	人文学部	講 師	和 田 とも美	韓 国	朝鮮近代文学の資料調査	13. 4. 2 } 13. 4. 7
	教育学部	助教授	布 村 忠 広	タ イ	第3回アジアユース女子選手権大会における健康管理・コンディショニング・アンチドーピングコントロールに関する研究	13. 4. 12 } 13. 4. 25
	経済学部	教 授	西 村 秀 二	カ ナ ダ	スポーツ傷害の刑事責任に関するカナダ法の研究	13. 4. 14 } 13. 12. 28

理学部	教授	内山 実	フ ラ ン ス	第1回両生類における内分泌攪乱物質試験に関する専門家会議に出席, 打合せ	13. 4. 23 13. 4. 29
工学部	助教授	堀田 裕弘	韓 国	第22回画像符号化シンポジウム(PC S 2001)に出席, 発表	13. 4. 24 13. 4. 28

## 主 要 行 事

### 本 部

- 4月3日 運営会議  
富山大学の在り方に関する検討特別委員会
- 4日 平成13年度新任教員説明会
- 5日 セクシャル・ハラスメント等対応委員会  
水質保全センター運営委員会
- 9日 新入生オリエンテーション  
自己点検評価委員会  
富山県インターンシップ運営委員会 (富山第一ホテル)
- 10日 平成13年度入学式 (富山市芸術文化ホール)  
学生部・学生団体オリエンテーション (富山市芸術文化ホール)
- 11日 学長候補者選挙管理委員会  
学生団体オリエンテーション (富山市芸術文化ホール)
- 12日 学長候補者選考本選挙不在者投票  
TOM'S Magazine 編集委員会  
国際交流委員会留学生部会
- 13日 事務協議会  
国立大学の設置形態に関する検討特別委員会  
総務委員会
- 16日 運営会議
- 17日 学長候補者選挙管理委員会  
学長候補者選挙  
臨時評議会
- 18日 国際交流委員会学術交流部会  
教養教育企画専門委員会  
教養教育実施専門委員会・同運営協議会  
Campus News 編集委員会  
公務員採用試験説明会  
放射性同位元素総合実験室運営委員会

- 19日 安全管理委員会放射性物質専門委員会  
教育学研究科新設専修 (社会科教育専修, 英語教育専修) 入学式  
東海・北陸地区国立学校等会計系部課長会議 (於:三重大学)  
富山共済組合支部連絡協議会総会 (於: 銀嶺荘)
- 20日 部局長会議  
学生生活委員会福利厚生部会  
評議会
- 23日 全国就職指導ガイダンス (於:虎ノ門ホール)
- 24日 運営会議  
名誉教授称号記授与式  
入学試験実施委員会
- 25日 総務委員会発明審査専門委員会 (持ち回り)
- 26日 学長候補者選挙管理委員会  
学生相談連絡会議
- 27日 国際交流委員会留学生部会  
学生生活委員会  
国立大学の設置形態に関する検討特別委員会

### 人 文 学 部

- 4月9日 学部将来計画委員会  
学部総務委員会  
学部学生生活・就職指導委員会
- 11日 学部情報処理委員会  
教授会 (人事)  
教授会  
学部広報委員会
- 12日 学部教務委員会
- 13日 学部教務委員会
- 18日 学部自己点検評価委員会

- 学部将来計画委員会  
学部広報委員会  
20日 学部教務委員会  
学部入学試験委員会  
25日 教授会（人事）  
教授会  
学部学生生活・就職指導委員会  
27日 学部総務委員会

- 学部入学試験委員会  
「総合的な学習の時間」に関する教育運営協  
議会  
26日 学部学生生活委員会  
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会  
27日 大学院連合教育学研究科（博士課程）設置構  
想委員会（於：愛知教育大学）  
学部紀要編集委員会  
学部予算委員会

教 育 学 部
---------

- 4月5日 学部教務委員会  
教育学研究科委員会小委員会  
学部学生生活委員会  
附属小学校第1学期始業式  
6日 学部入学試験委員会  
教育学研究科委員会  
教授会  
人事教授会  
附属小学校入学式  
附属中学校第1学期始業式  
7日 附属養護学校及び附属幼稚園第1学期始業式  
9日 教育学研究科新設専修（社会科教育専修，英  
語教育専修）入学試験  
学部新入生オリエンテーション（その1）  
附属中学校及び附属養護学校入学式  
10日 教育学研究科委員会小委員会  
教育学研究科委員会  
大学新入生オリエンテーション  
附属幼稚園入園式  
11日 教育学研究科新設専修（社会科教育専修，英  
語教育専修）合格発表  
学部新入生オリエンテーション（その2）  
12日 学部新入生オリエンテーション（その3）  
介護等体験オリエンテーション  
13日 学部授業開始  
18日 学部将来計画委員会  
19日 教育学研究科新設専修（社会科教育専修，英  
語教育専修）新入生オリエンテーション  
20日 教育学研究科授業開始  
21～22日 新入生研修（於：国立立山少年自然の家）  
25日 教育方法（FD）推進検討委員会  
学部教務委員会  
学部自己点検評価委員会

経 済 学 部
---------

- 4月4日 学部教務委員会  
6日 学部学生生活委員会  
学部国際交流委員会  
研究科委員会小委員会  
人事教授会  
研究科委員会  
教授会  
9日 オリエンテーション（教養教育関係）  
11日 オリエンテーション（昼間主コース）  
オリエンテーション（夜間主コース）  
12日 オリエンテーション（第3年次編入学）（昼  
間主コース）  
オリエンテーション（第3年次編入学）（夜  
間主コース）  
24日 学部教務委員会  
26日 図書等委員会  
学部入学試験委員会  
27日 学部国際交流委員会

理 学 部
-------

- 4月5日 学科長会議  
10日 大学院理工学研究科博士後期課程部会  
11日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
教授会  
人事教授会  
12日 学部安全管理委員会排水安全専門委員会  
18日 学部施設委員会  
19日 学部学生生活委員会  
25日 学科長会議  
大学院理工学研究科博士後期課程部会

## 工 学 部

## 保健管理センター

- 4月5日 学部教務委員会  
 6日 学部学生生活委員会  
 9日 学部就職指導委員会  
 10日 学部運営委員会  
 教授会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 工学研究科博士後期課程委員会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 24日 学部教務委員会  
 学部入学試験検討委員会  
 25日 教授会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 27日 電子広報委員会  
 工学部案内編集委員会

- 4月19日 保健管理センター自己点検評価委員会

## 地域共同研究センター

- 4月6日 運営委員会 (持ち回り)  
 17日 運営委員会 (持ち回り)  
 25日 運営委員会 (持ち回り)

## 水素同位体科学研究センター

- 4月17日 運営委員会 (持ち回り)  
 25日 運営委員会  
 25日 専門委員会

## 放射性同位元素総合実験室

- 4月18日 運営委員会

## 附 属 図 書 館

- 4月19日 オンラインジャーナル編集・出版システム説明会 (於：富山大学総合情報処理センター4階ソフトウェア演習室)  
 26～27日 第52回北信越地区国立大学図書館協議会 (於：KKRホテル金沢)



▲ 学長候補者選挙投票風景

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033  
 印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899